



LaserVision

digital  
SOUND

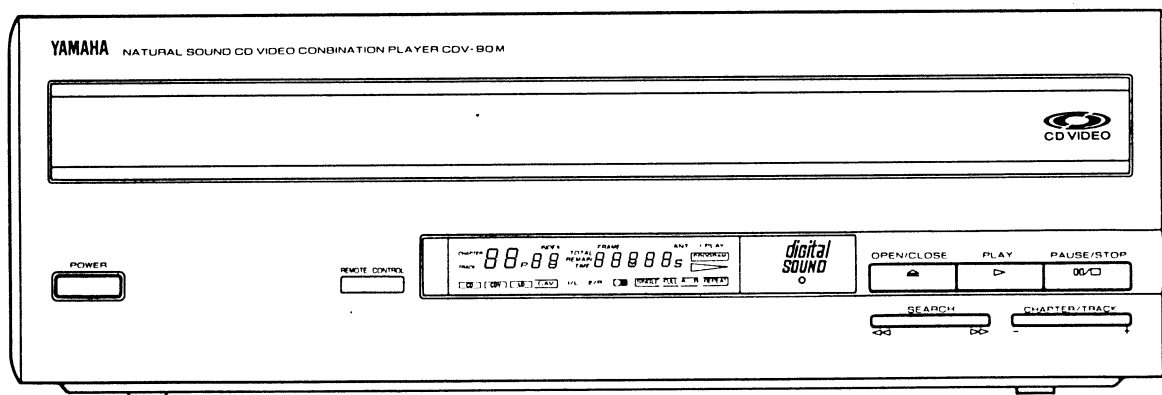


COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

# CDV-90M

## NATURAL SOUND CD VIDEO COMBINATION PLAYER

取扱説明書



NTSC

# YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびはヤマハCDビデオコンビネーションプレーヤーCDV-90Mをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDV-90Mの優れた性能を十分に発揮させるとともに、末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

お読みになったあとは保証書とともに必ず保存してください。

## 特長

本機は、デジタルインターフェース対応のCD・ビデオ、コンビネーションプレーヤーです。

### ●デジタル音声出力端子

映像信号に影響を与えることの少ないオプチカルのデジタル音声出力端子を装備していますので、デジタルのクオリティを生かした再生をすることができます。

### ●A/Dコンバーター内蔵

本機はA/Dコンバーターを内蔵していますので、アナログ音声のディスクもデジタルに内部変換し、アンプとデジタル接続をすることができますので、伝送ロスを少なくできます。

### ●LD、CDV、CD すべてのディスクに対応

LDシングルおよび8cmCDシングルディスクもアダプターなしで再生することができます。

### ●一曲再生機能

一曲の再生が終了すると自動的にポーズ状態になる一曲再生機能があります。カラオケディスクの再生のときなどに便利です。

## 目次

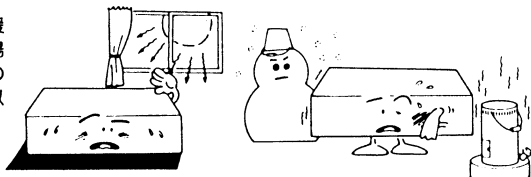
特長	1
豊かなAVライフのために	2
ご使用前に	3
リモコンを使う前に	4
ディスクについて	5
リアパネル各部の名称とはたらき	9
接続のしかた	10
フロントパネル各部の名称とはたらき	19
リモコン各部の名称とはたらき	21
再生のしかた(基本操作) <b>LD CDV CD</b>	25
テレビ放送を見るには <b>LD CDV CD</b>	30
画面表示について <b>LD CDV</b>	31
モード表示について <b>CDV CD</b>	32
デジタル/アナログ音声切替について <b>LD CDV</b>	33
音声切替について <b>LD CDV CD</b>	34
CX NRについて <b>LD CDV</b>	34

一曲再生 <b>LD CDV CD</b>	35
スキップ機能について <b>LD CDV CD</b>	36
サーチ機能について <b>LD CDV CD</b>	37
フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ <b>LD CDV</b>	39
タイムサーチ <b>CDV CD</b>	41
インデックスサーチ <b>CDV CD</b>	44
プログラム再生 <b>LD CDV CD</b>	45
メモリー再生 <b>LD CDV CD</b>	47
マルチスピード再生 <b>LD CDV</b>	49
静止画/コマ送り再生 <b>LD CDV</b>	50
リピート再生 <b>LD CDV CD</b>	51
本機をシステムでご使用になりますと	54
故障かなと思ったら	55
参考仕様	57
ヤマハホットラインサービスネットワーク	58

# 豊かなAVライフのために

## 高温・低温はさけて！

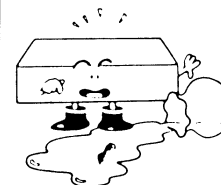
窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)は、さけてください。



## 結露現象について

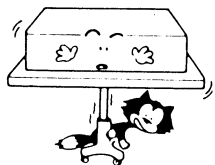
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れてから1～2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

## ほこり・水気をさけて！



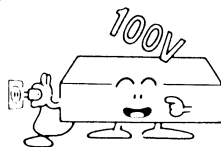
ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

## 不安定な場所をさけて！

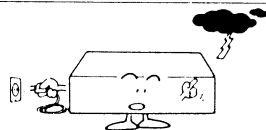


## 国内のみ使用可

家庭用電源コンセント  
AC100V



## 雷が近づいたら



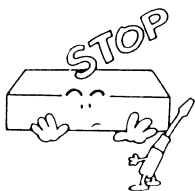
早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このときアンテナ線には絶対に触れないでください。

## 薬物厳禁



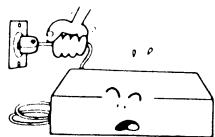
ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

## 開けないで！



内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。

## 引っぱらないで！



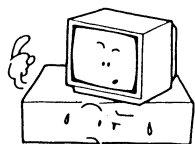
電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

## 保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



## 上にのせないでください！



## こわれた？



55ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

これは電子機器工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

### 音楽を楽しむエチケット

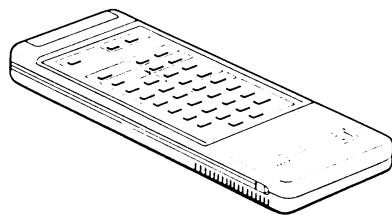
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

# ご使用前に

## 付属品を確認してください

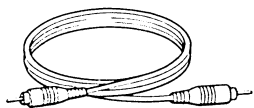
付属品は8点あります。

### ● リモコン



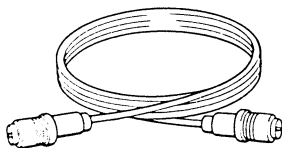
### ● 映像ケーブル

カラーモニターや映像入力端子付テレビを使用する場合、本機のVIDEO SIGNAL端子と、カラーモニターの映像入力端子の接続に使用します。



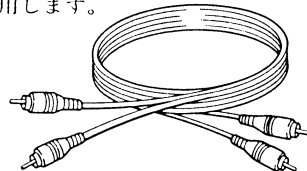
### ● RFケーブル

テレビと本機のVHF OUT端子を接続するときに使用します。ご使用になるテレビのアンテナ端子の形状によっては、このケーブルの一端を加工して使用します。



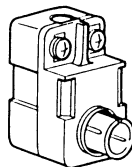
### ● 音声ケーブル

本機のAUDIO SIGNAL端子とステレオアンプやAVテレビの音声入力端子の接続に使用します。



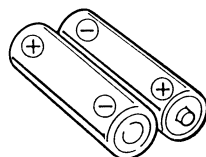
### ● F型プラグアダプター

ご使用のVHFアンテナケーブルを本機のANT INへ接続するときに使用します。



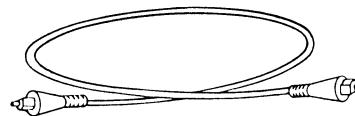
### ● 乾電池

単3 (SUM-3) × 2本



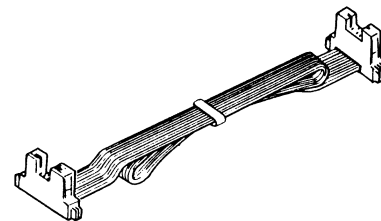
### ● オプティカルケーブル

アンプとデジタル・オプティカル接続をするときに使用します。



### ● システムコネクターケーブル

アンプAST-A90Mとシステム接続をするときに使用します。



## 設置について

本機の電子部品や、精密なメカニズムを保護し、良好な状態でご使用いただくために、次のことに注意して本機の設置を行なってください。

- 本機の上に物を置かないでください。
- 直射日光や高温の場所はさけてください。
- 水平な場所に設置してください。傾いた場所でご使用になりますとディスクを傷つけることがあります。
- 湿気やほこりをさけてください。

### ■ 設置場所について

本機を発熱をとまなうアンプなどの上に積み重ねたり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので通気の良い場所に設置してください。また、本機の上にも物を載せないでください。

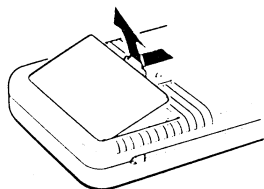
### ■ スピーカー、テレビ、チューナーの設置

- 本機の上にテレビ(カラーモニター)を設置しないでください。また、テレビ(カラーモニター)の上に本機を設置しないでください。
- テレビ(モニター)はスピーカーの磁気の影響を受けないよう離して設置してください。
- FM・AM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときには電源を切っておいてください。

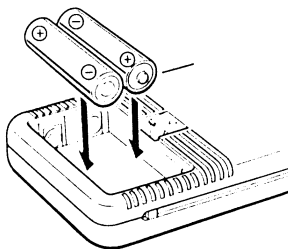
# リモコンを使う前に

## ●電池の入れかた

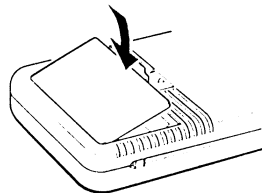
(1)リモコンの裏側のふたをはずします。



(2)付属の電池SUM-3型(単3) 2本を、+/-の向きをケース内の表示に合わせて正しく入れます。



(3)電池交換がすんだらカチッと音がするまでしめます。



## ●電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2本とも新しい電池に交換してください。

## 乾電池についてのご注意

乾電池は使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

### 電池交換のときは

- プラス(+)とマイナス(-)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

### 充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

### リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

### 万一の事故を防ぐために

- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。

- ⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

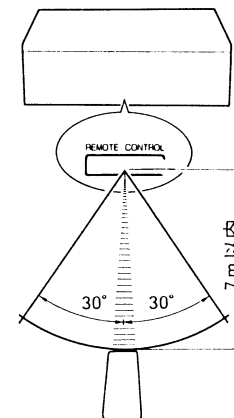
### 液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

## リモコンについてのご注意

### リモコンの使用範囲は

図の範囲内であっても、ディスクトレイが開いていて、それによってリモコンからの信号がさえぎられていると、動作しませんので、ご使用になる角度に注意してください。



### リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、本機の電源が入っているかどうかもお確かめください。

### 付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光窓をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

# ディスクについて

本機で再生できるディスクは下表の通りです

●ディスクマークはディスクのジャケットや解説書に記載されています。

マ ー ク	デ ィ ス ク	サイ ズ	記号記録面	音声記録方式	映像記録方式	サ ー チ の 種 類	そ の 他
	 CDシングル	8 cm	片 面	デジタル (最長20分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC(*1)
	CD (コンパクトディスク)	12cm	片 面	デジタル (最長70分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX(*2)
	CDV (コンパクトディスクビデオ)	12cm	片 面	デジタル (最長20分)	CLV(*3) (最長5分)	トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX
	CDV-LD (CDVフォーマット レーザービジョンディスク) LDシングル	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ	CAV(*4) または CLV	チャプター/トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ フレームナンバーサーチ(CAV) タイムナンバーサーチ(CLV)	TOC INDEX
	LD (レーザービジョンディスク)	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ (*5) または アナログのみ	CAV または CLV	チャプターサーチ フレームナンバーサーチ(CAV) タイムナンバーサーチ(CLV)	



本機の再生するLD(レーザービジョンディスク)はこのマークがあるディスクに限ります。このマークはビデオディスクの世界統一マークです。CED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません。


●本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式(PAL, SECAM)の表示のあるディスクおよびテレビは使用できません。

### ■TOCについて(\*1)

CD、CDVは、ディスクの最初の部分にTOC(テーブルオブコンテンツ)と呼ばれる部分があります。これは本における目次と同様のもので、そのディスクに納められている内容(トラック数や演奏時間など)が記録されています。

### ■INDEXについて(\*2)

CD、CDVのなかには、クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスと呼ばれるナンバーをつけているものがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

- インデックスナンバーが記録されているCDおよびCDVには  マークがディスクの解説書に記載されています。

### ■映像の記録方式について

#### ●標準ディスク CAV(\*3、4)

CAV(Constant Angular Velocity) ディスクとも言い、ディスクの内周から外周にかけて一定回転で信号が記録されています。30cmディスクの場合、片面には、最大30分まで、フレーム(画面)数にして54,000枚まで記録されます。

標準ディスクは、すべてのフレーム(画面)に番号がつけられており、トリックプレイ(静止 コマ送り、可変速再生)、オートヒクチャーストップができます。


また、チャフターサーチ、フレームサーチ、各種リビート再生なども可能です。

#### ●長時間ディスク CLV

CLV(Constant Linear Velocity) ディスクとも言い、ディスクの内周と外周では、記録速度が一定となるように、回転数が変化します。(内周:1800回転/分~外周:600回転/分) 30cmディスクの場合、片面には最大60分まで記録されます。


トリックプレイ(静止 コマ送り、可変速再生、オートヒクチャーストップ)はできませんが、チャフターサーチ、タイムサーチ、リビート再生が可能となります。

### ■音声について(\*5)

LDのなかには、音声デジタル音声とアナログ音声の両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。(音声デジタルで記録されているディスクにはジャケットに  マークが記載されています。)

本機は音声切換キーで、再生する音声を、デジタル音声、アナログ音声のどちらかを選択することができます。

### ■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクについて

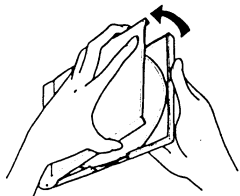
ジャケットやレーベルに  マークの付いたディスクは、デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声記録されていて、再生時に音声を選択することができます。詳細は33ページをご参照ください。

## ディスクについて

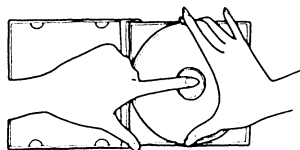
### 12cmCDV、CDの取り扱い

#### ●12cmCDV、CDの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。

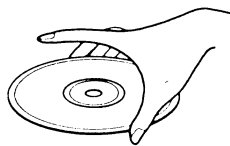


2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でディスクを持ちあげます。

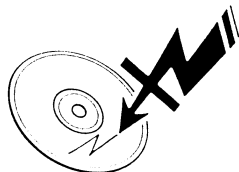


#### ●12cmCDV、CDの持ちかた

ディスクの両端をはさんで持ちます。



●ディスクに紙やシールを貼り付けたり、キズを付けたりしないでください。

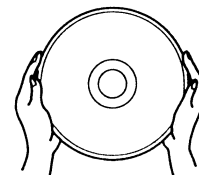


### 20cm、30cmビデオディスク(LD、CDV)の取り扱い

#### ●ディスクの持ちかた

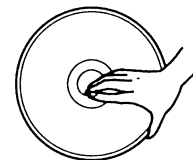
両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持ちます。



片手で持つ場合

中央の穴と外周部に掛けて持ちます。



●そりや傷のあるディスクは使わないでください。

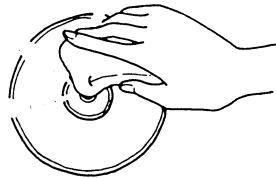
ディスクのそりや傷は画質、音質を損ねるばかりでなく、ひどい場合にはセットに損傷を与えたり、寿命を著しく縮めたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

もしディスクがそってしまったときは、右項の「2.もしディスクがそったときは」をご参照のうえ、ディスクを矯正してからご使用ください。



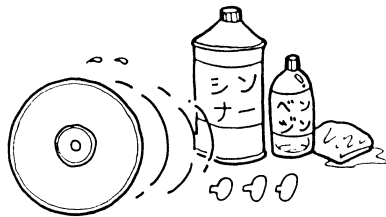
## ディスクのお手入れについて

より良い画質・音質でお楽しみいただくため、ディスク面についたホコリやゴミ、指紋などは、柔らかい布でふきとってからご使用ください。  
汚れがひどい場合は、水にひたしてからよくしぼった柔らかい布でよごれをふきとり、乾いた布でからふきしてください。



みがく時は放射状に

ディスクのクリーニングの際に、ベンジンやレコードクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



### ご注意

ディスクは熱などにデリケートな素材でできています。  
再生後は必ずトレイからとり出してジャケットやケースに収めて高温多湿をさけて垂直に保管してください。

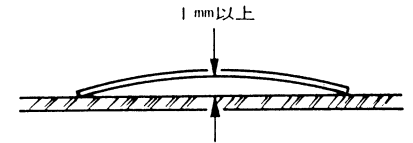
## 1. ディスクの保管について

そりを防ぐために使用後は、ディスクをトレイから必ず取り出してください。取り出したディスクはジャケットに収め、高温多湿の場所を避けて垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねて保管しておくとディスクがそる場合がありますのでご注意ください。また、ディスクに付いている注意書も必ずお読みください。

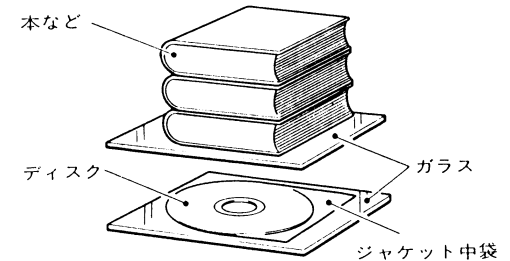
## 2. もしディスクがそったときには

平らな面(ガラス等)の上にディスクを置いて隙間(目安として1mm以上)ができるディスクはそりが大きすぎます。矯正してからご使用ください。

1mm以上の隙間があるディスクは矯正してください。

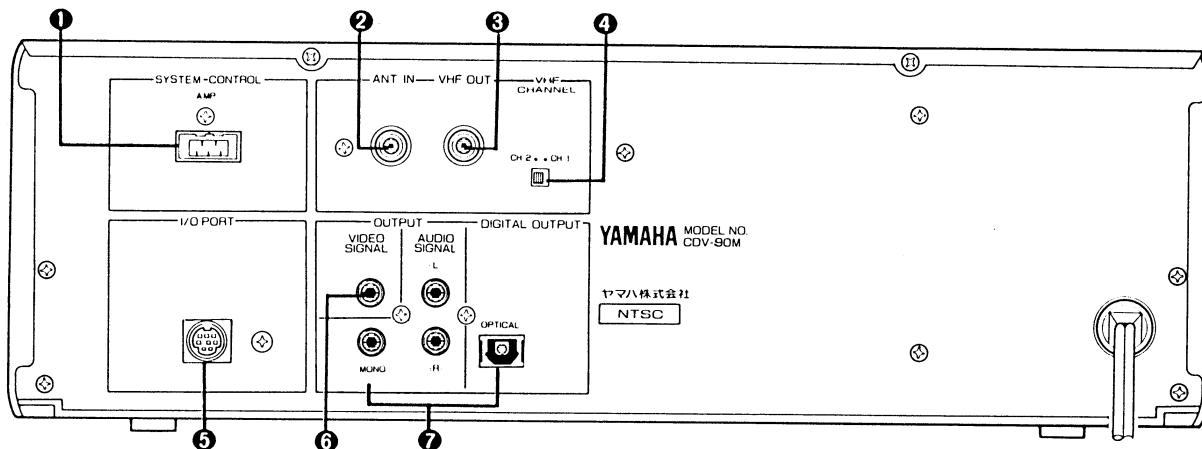


ディスクが変形してしまった場合には、ディスクを中袋に入れてガラスなど平らな板ではさみ、4～5kgの重しをのせて1日ほどそのままにしておいてください。そりなどが軽減される場合があります。



# リアパネル各部の名称とはたらき

リアパネル各部の名称とはたらき



## ① システムコントロール端子

本端子と別売のアンプ、ヤマハAST-A90MのSYSTEM CONTROL CD/CDV端子を、付属のシステムコネクターケーブルで接続しますと、アンプのリモコンで本機をコントロールすることができます。また、AST-A90Mと別売のヤマハのカセットデッキK-W90Mとシステムを組み合せますと、本機の再生する音声をダイレクト録音、リプレイ録音、ツインダイレクト録音、ツインリプレイ録音することができます。詳細は54ページをご参照ください。

## ② アンテナイン端子

VHF用テレビアンテナからの放送信号またはVTRを経由したVHF信号を入力する端子です。

## ③ VHF OUT端子

再生する映像と音声をVHF信号にして出力する端子です。付属のRFケーブルを使ってテレビのVHF端子に接続します。

## ④ CHANNEL切換スイッチ

VHF OUT端子からの出力信号をテレビの空チャンネルに合わせて切り換えるスイッチです。(CH 1：チャンネル1、CH 2：チャンネル2)

## ⑤ I/O PORT

調整用端子です。ご使用になれません。

## ⑥ VIDEO SIGNAL端子

映像信号を出力する端子です。

## ⑦ AUDIO SIGNAL端子

音声信号を出力する端子です。再生するディスクによって、各端子に出力される信号が次の表のように異なります。

再生ディスク	MONO端子	L、R端子	DIGITAL OUT OPTICAL 端子
CD、12cmCDV	デジタル音声モノラルで出力されます。	デジタル音声ステレオで出力されます。	デジタル音声ステレオで出力されます。
digital SOUND マーク付きの20cm・30cm CDV、LD	デジタル音声またはアナログ音声モノラルで出力されます。 * デジタル音声、アナログ音声の切り換えができます。	デジタル音声またはアナログ音声ステレオで出力されます。 * デジタル音声、アナログ音声の切り換えができます。	デジタル音声そのまま、アナログ音声はデジタルに変換して出力されます。
digital SOUND マーク無しのLD	アナログ音声モノラルで出力されます。	アナログ音声ステレオで出力されます。	アナログ音声デジタルに変換されて出力されます。

# 接続のしかた

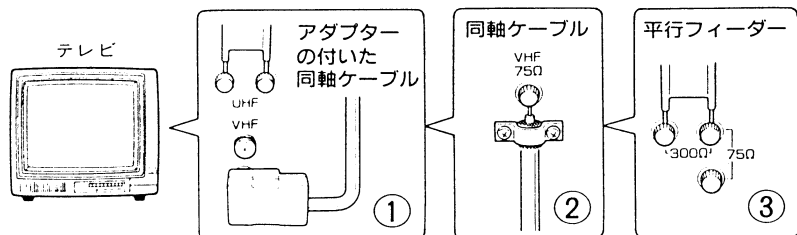
## 接続の際のご注意

- 電源スイッチ……本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 電源プラグ……接続に誤りがないことを確認してから、電源コンセントに差し込んでください。
- 接続コード……各機器のL(左チャンネル)・R(右チャンネル)を確認して、正しく確実に接続してください。
- OPTICAL端子をご使用になるときは、端子カバーを手前に引き、外してから接続してください。

## 接続のまえに

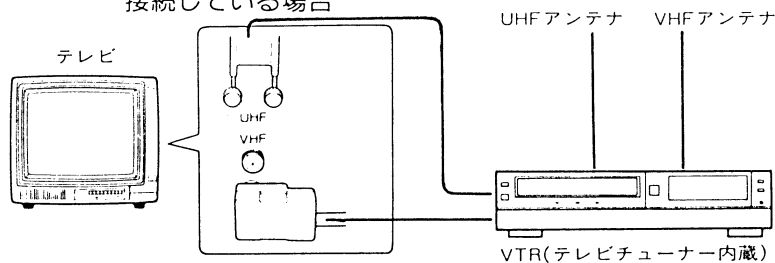
- ご使用になるテレビによって接続の方法が異なります。お手持ちのテレビを確認し、各接続例をご参照ください。

接続例A：AV入力端子のない普通のテレビの場合 11～14ページをご覧ください。

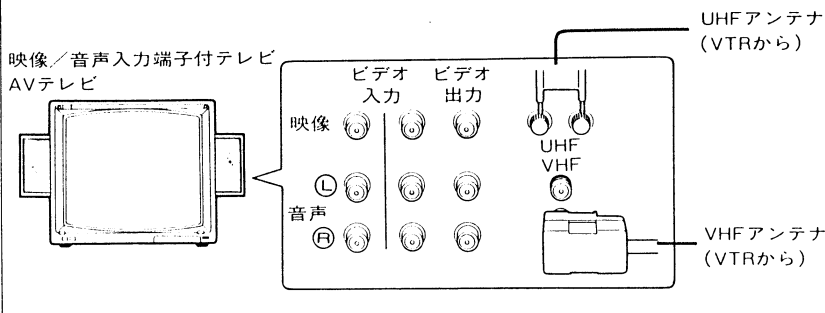


アンテナ線とアンテナ端子の形状を確認してください。

接続例B：AV入力端子のない普通のテレビにすでにVTRを接続している場合 15～16ページをご覧ください。



接続例C：映像/音声入力端子のあるモニターテレビやAVテレビの場合 17ページをご覧ください。



- 接続する機器によって端子などの名称が異なります。接続の際は、各機器の取扱説明書も合わせてご参照ください。

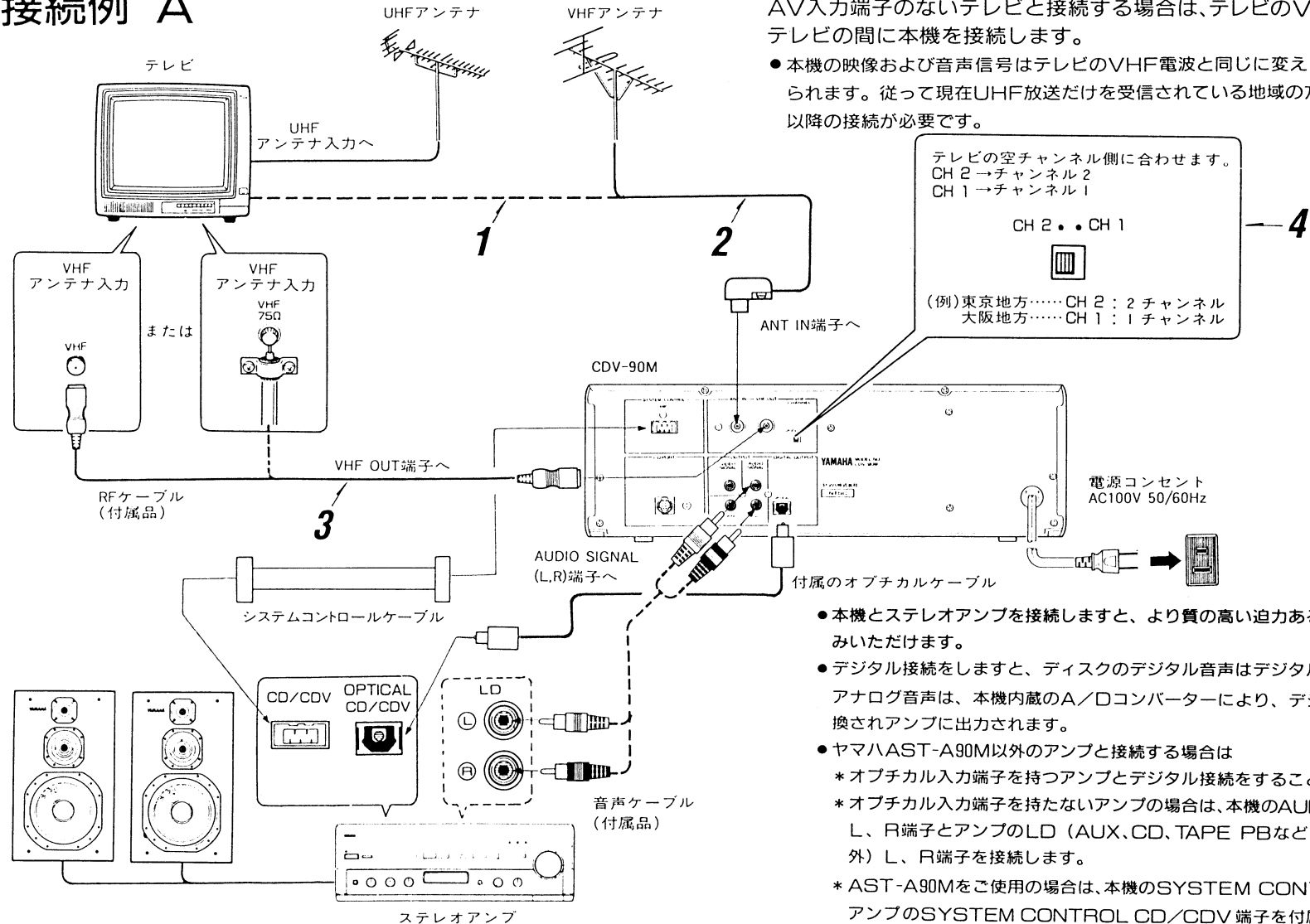
## ■電源コードの極性表示について

電源プラグはAC100Vの家庭用コンセントに接続してください。本機の消費電力は28Wです。

本機の電源コードには、極性表示(電源トランスの巻き始め側をプラグに“-”で表示)されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。

家庭用のコンセントに接続する場合、極性表示のある方を家庭用コンセントの長い方の穴に合わせて接続してください。

# 接続例 A



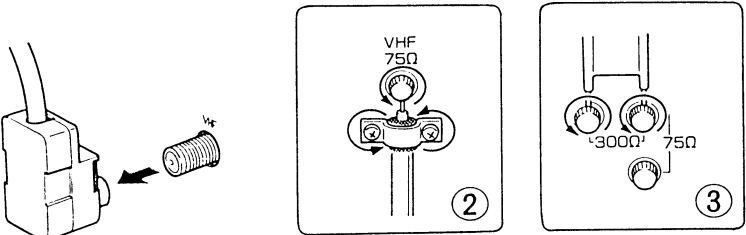
エービー <sup>バイ</sup> AV入力端子のないテレビと接続する場合は、テレビの <sup>ブイ</sup> VHFアンテナとテレビの間に本機を接続します。

- 本機の映像および音声信号はテレビのVHF電波と同じに変えられ、テレビへ送られます。従って現在UHF放送だけを受信されている地域の方も、12ページの3以降の接続が必要です。

- 本機とステレオアンプを接続しますと、より質の高い迫力ある音声がお楽しみいただけます。
- デジタル接続をしますと、ディスクのデジタル音声はデジタル信号のまま、アナログ音声は、本機内蔵のA/Dコンバーターにより、デジタル信号に変換されアンプに出力されます。
- ヤマハAST-A90M以外のアンプと接続する場合は
  - \* オプティカル入力端子を持つアンプとデジタル接続をすることができます。
  - \* オプティカル入力端子を持たないアンプの場合は、本機のAUDIO SIGNAL L、R端子とアンプのLD (AUX、CD、TAPE PBなど：PHONO以外) L、R端子を接続します。
  - \* AST-A90Mをご使用の場合は、本機のSYSTEM CONTROL 端子とアンプのSYSTEM CONTROL CD/CDV 端子を付属のシステムコネクターケーブルで接続します。

1 テレビに接続されているVHFのアンテナ線を外します。

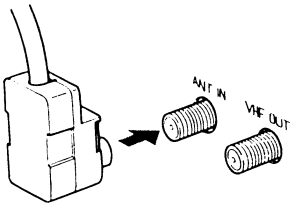
- UHFのアンテナ線は外す必要はありません。



アンテナ端子の形状は、お手持ちのテレビによって異なります。

2 1で外したVHFのアンテナ線を本機リアパネルのANT IN端子に接続します。

- \* アンテナ線が②、③の場合は、アンテナ線の先に付属のF型プラグアダプターを取り付けます。(13ページの図1の1～4または14ページ図2の1をご参照ください。)



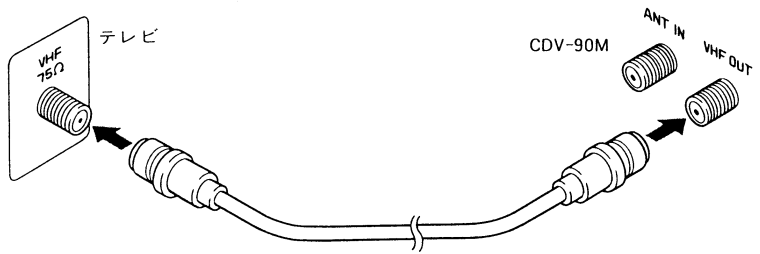
ご注意

RFケーブルの場合も映像・音声の各ケーブルの場合も、接続の際は、プラグの部分を指でしっかり掴み、端子に確実に差し込みます。確実に差し込まれていないと、映像や音が出ないことがあります。



3 テレビのVHFアンテナ端子(75Ω)と本機のVHF OUT端子を付属のRFケーブルで接続します。

- \* テレビのアンテナ端子の形状が②、③の場合は、付属のRFケーブルの加工が必要です。14ページの図3の1～2をご参照ください。



4 本機のリアパネルにあるCHANNELスイッチを空チャンネル(テレビ放送のないチャンネル。例：東京地方はCH2：2チャンネル、大阪地方はCH1：1チャンネル)側に切り換えます。

テレビの空チャンネル側に合わせます。(例)東京地方……CH2：2チャンネル  
CH2→チャンネル2  
大阪地方……CH1：1チャンネル  
CH1→チャンネル1

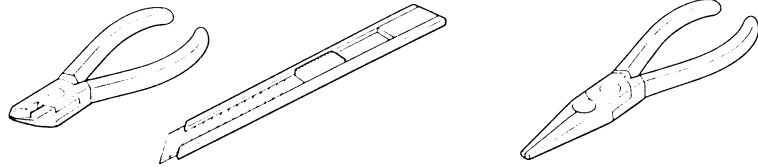
CH 2 . . . CH 1

- 接続が終了したら、テレビの電源を入れて(本機の電源は入れる必要はありません)放送が今までどおりに映るかどうか確認してください。映らないときは接続を始めから確認してください。
- 本機を再生するときは、テレビのチャンネルを空チャンネル(1または2)に合わせます。
- 再生するディスクの種類にかかわらず、テレビから聴ける音声はモノラルです。

# 接続のしかた

**図1** テレビのアンテナ端子が②、③の場合は、1で外したVHFのアンテナ線を加工して、付属F型プラグアダプターを取り付けます。

アンテナ線を加工するために、下記のような工具をご用意ください。



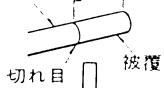
ニッパー(またはカッターナイフ、ハサミなど)

ラジオペンチ(ペンチ)

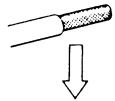
● 12ページの②のようにアンテナケーブルが同軸ケーブルの場合

1. 同軸ケーブルの先端を切断してから加工します。

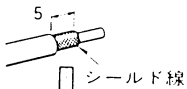
同軸ケーブル 12 単位: mm



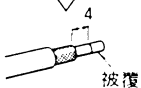
(1)ニッパーまたはカッターナイフで被覆に切れ目を入れる。



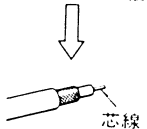
2 被覆を取る。



3 シールド線をカットする。

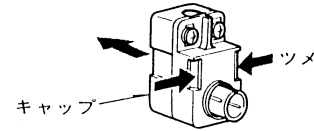


4 芯線の被覆に切れ目を入れる。

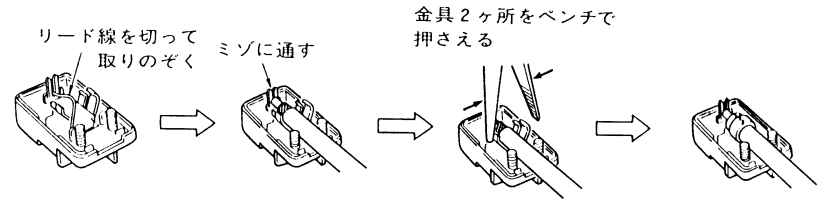


5 芯線の被覆を取り、芯線を出す。

2. F型プラグアダプターのツメを内側に押さえてキャップを外します。



3. 赤いリード線を切って取り除き、同軸ケーブルを図のように通し、ペンチで押さえます。



4. キャップの先端部を入れ、次にカチッと音がするまで後部を押し込みます。

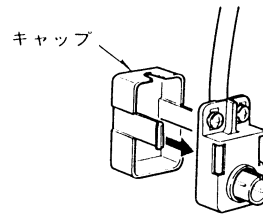
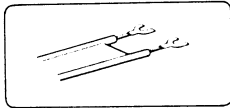


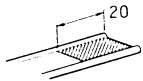
図2

●12ページの③のようにアンテナケーブルが平行フィーダーの場合

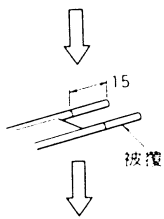
1. F型プラグアダプターのターミナルに平行フィーダーを接続します。



●平行フィーダーに金具が付いている場合は、加工する必要はありません。



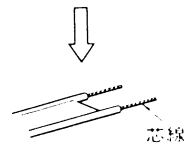
①中心部をカッターナイフなどで切る



2 被覆に切れ目を入れる。



3 被覆をとる。



4 芯線をよじる。

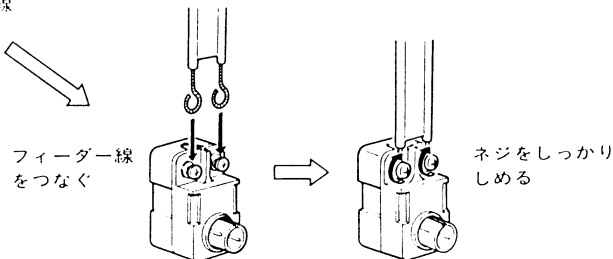


図3

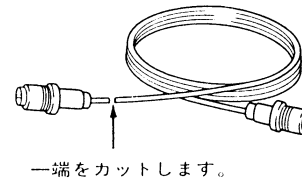
テレビのアンテナ端子が12ページの②、③の場合は、付属のRFケーブルをテレビのVHF 75Ω端子に付けられるように加工します。

●テレビのVHFアンテナ端子がF型ターミナルの場合は、RFケーブルを加工する必要はありません。

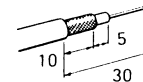
F型ターミナル



1. RFケーブルの片方のプラグ側を切断します。

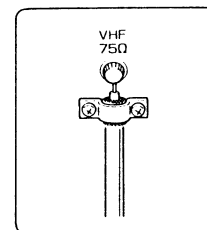


2. ケーブルの先端を加工して、テレビのVHF75Ω端子に取り付けます。



単位：mm

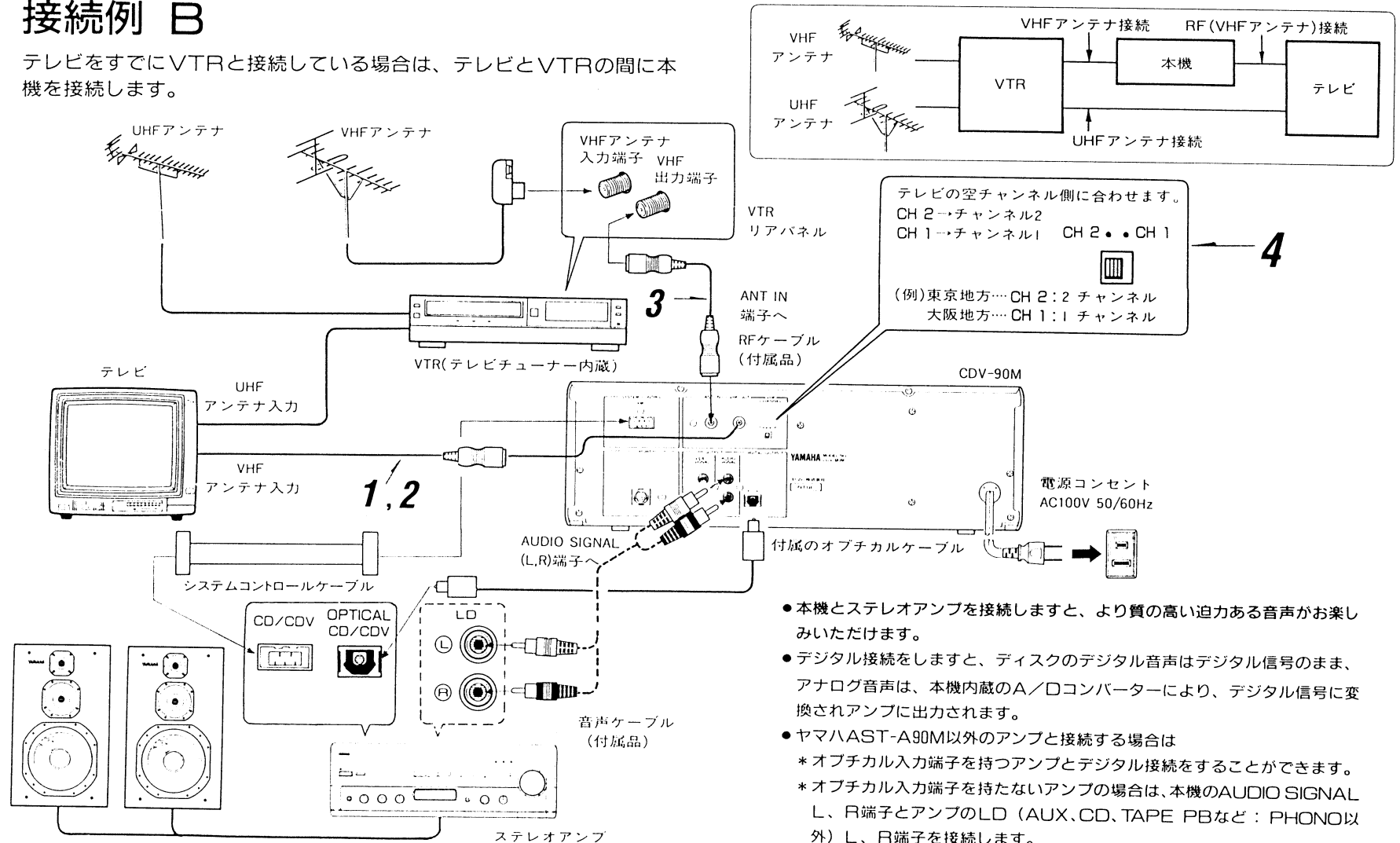
\*寸法は目安



③のように平行フィーダーを使っていた場合も、RFケーブルで、VHF75Ω端子に接続します。

## 接続例 B

テレビをすでにVTRと接続している場合は、テレビとVTRの間に本機を接続します。

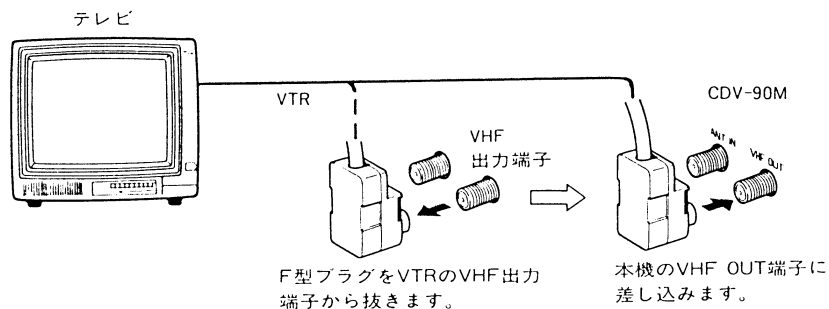


- 本機とステレオアンプを接続しますと、より質の高い迫力ある音声が楽しめます。
- デジタル接続をしますと、ディスクのデジタル音声はデジタル信号のまま、アナログ音声は、本機内蔵のA/Dコンバーターにより、デジタル信号に変換されアンプに出力されます。
- ヤマハAST-A90M以外のアンプと接続する場合は
  - \* オプティカル入力端子を持つアンプとデジタル接続をすることができます。
  - \* オプティカル入力端子を持たないアンプの場合は、本機のAUDIO SIGNAL L、R端子とアンプのLD (AUX、CD、TAPE PBなど: PHONO以外) L、R端子を接続します。
  - \* AST-A90Mをご使用の場合は、本機のSYSTEM CONTROL 端子とアンプのSYSTEM CONTROL CD/CDV 端子を付属のシステムコネクタケーブルにて接続します。

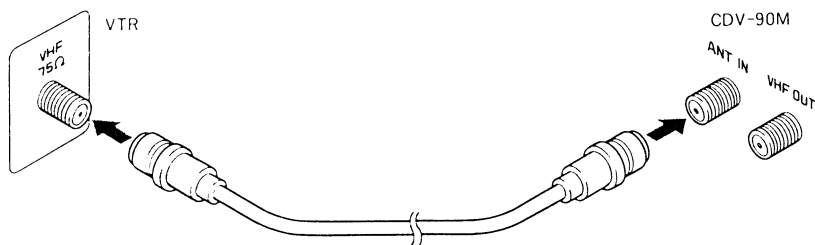


- 1 VTRのリアパネルのVHF出力端子（ビデオ出力）に接続してあるプラグ（それまでテレビのVHF端子と接続していたプラグのVTR側）を抜きます。  
\* UHFの接続は変更しません。

- 2 抜いたプラグをそのまま本機のVHF OUT端子（ビデオ出力）に差し込みます。



- 3 VTRのVHF出力端子（ビデオ出力）と本機のANT IN端子（アンテナ入力）を付属RFケーブル（アンテナケーブル）で接続します。



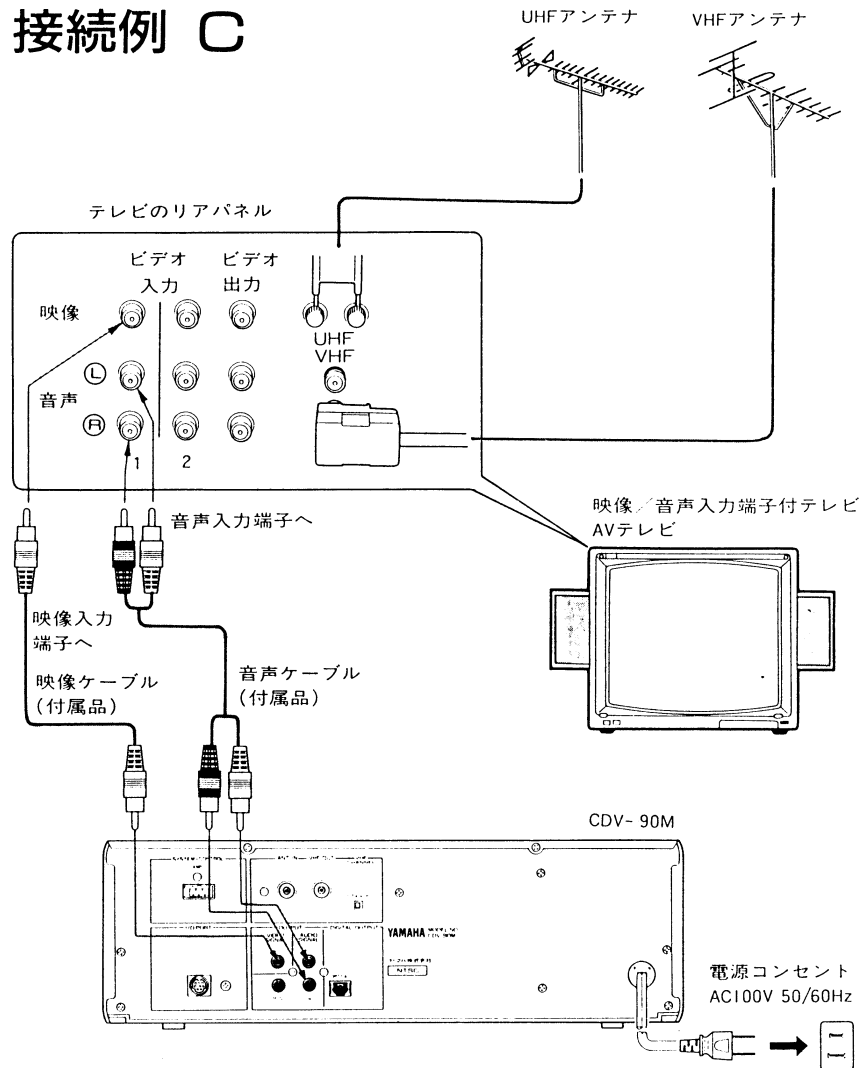
- 4 本機のリアパネルにあるCHANNELスイッチ（チャンネル）を空チャンネル（テレビ放送のないチャンネル。例：東京地方はCH2：2チャンネル、大阪地方はCH1：1チャンネル）側に切り換えます。

テレビの空チャンネル側に合わせます。（例）東京地方…CH2：2チャンネル  
CH2→チャンネル2 大阪地方…CH1：1チャンネル  
CH1→チャンネル1 CH 2・・・CH 1



- 接続が終わりましたら、テレビの電源を入れて（本機およびVTRの電源は入れる必要はありません）放送が今までどおりに映るかどうか確認してください。（映らないときは接続を始めから確認してください）
- 本機を再生するときは、テレビのチャンネルを空チャンネル（1または2）に合わせます。  
\* 本機を再生するときはVTRの電源スイッチは切ってください。
- 再生するディスクの種類にかかわらず、テレビから聴ける音声はモノラルです。

## 接続例 C



映像入力端子および音声入力端子を装備したモニターテレビやAVテレビをご使用の場合

- 1 本機のVIDEO <sup>ビデオ</sup>SIGNAL端子とテレビの映像入力端子を、付属の映像ケーブルで接続します。
- 2 本機のAUDIO <sup>オーディオ</sup>SIGNAL L、R端子とテレビの音声入力(L、R)端子を、付属の音声ケーブルで接続します。

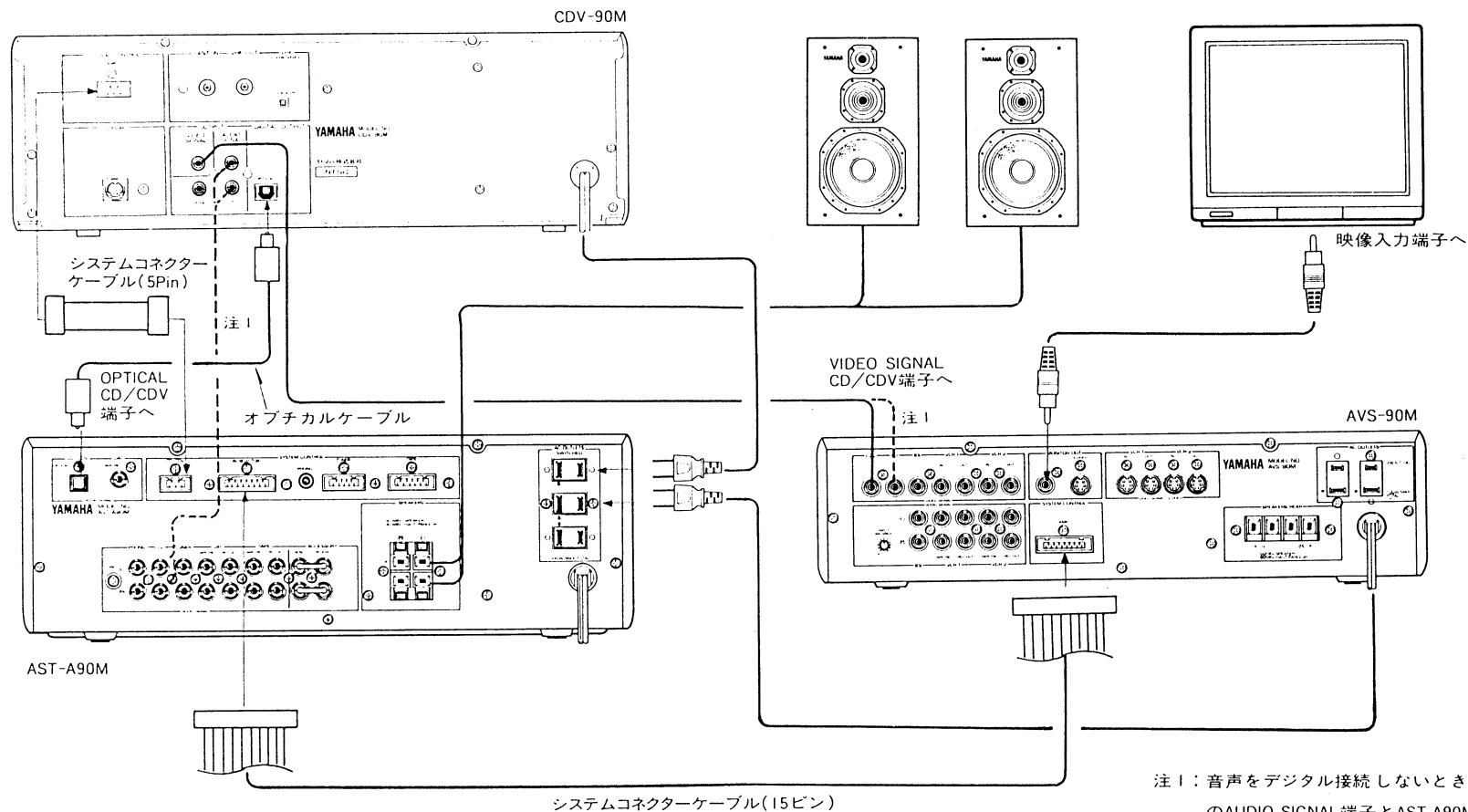
- この接続をするときは、本機にアンテナを接続する必要はありません。
- お手持ちのテレビの取扱説明書をご参照になり、入・出力端子を確認してください。
- 音声の端子は本機、テレビとも右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を合わせて接続してください。
- テレビの音声入力端子がモノラルの場合は、本機のAUDIO SIGNAL MONO端子と接続します。
- 音声入力端子を持たないモニターテレビに接続する場合や、本機の音声をより良い音で再生したいときは、本機のAUDIO SIGNAL L、R端子をステレオアンプのAUX(補助)、CDあるいはTAPE PB(テープ再生)などどれかひとつの入力端子(L、R)に接続してください。このときPHONO(レコード)端子には接続しないでください。

\* AST-A90Mをご使用の場合は、本機のSYSTEM CONTROL 端子とアンプのSYSTEM CONTROL CD/CDV 端子を付属のシステムコネクターケーブルで接続します。

\* AST-A90Mまたはオプティカル入力端子を持つアンプと、デジタルを接続しますと、ディスクのデジタル音声はデジタル信号のまま、アナログ音声は本機内蔵のA/Dコンバーターによりデジタル信号に変換されアンプに出力されます。

- テレビの放送を見るか、本機を再生するかは、テレビ側で切り換えてください。
- テレビに本機のほかにVTRなどが接続されている場合、どちらかの映像を見るときは、必ず他方の機器の電源を切ってください。

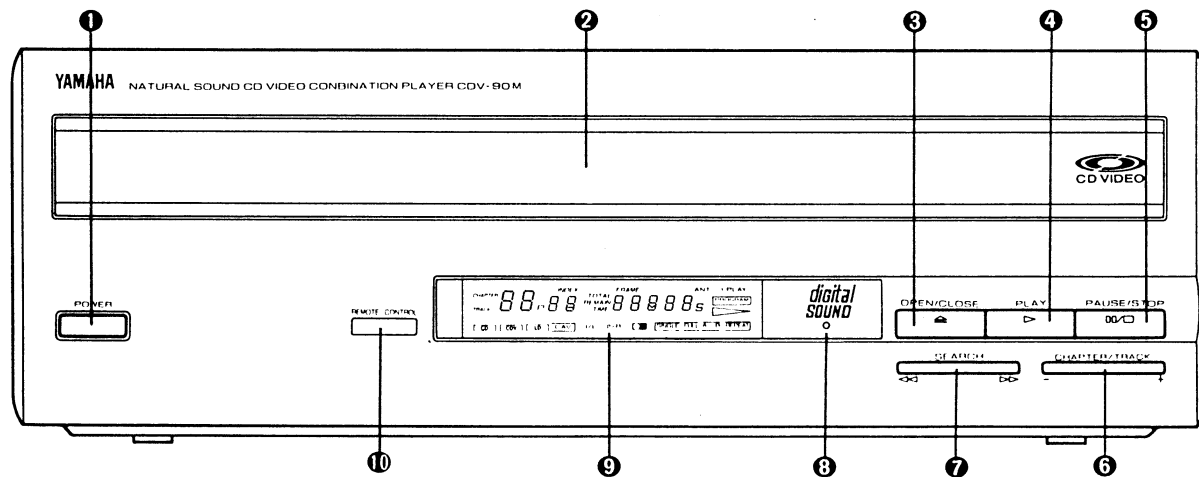
# システム接続例



注1：音声をデジタル接続しないときは、CDV-90MのAUDIO SIGNAL端子とAST-A90MのLD端子、VIDEO SIGNAL端子とAVS-90MのLD端子を接続します。

注2：AST-A90M、AVS-90Mの取扱説明書もあわせてご参照ください。

# フロントパネル各部の名称とはたらき



## ① <sup>パワー</sup>POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。電源が入りますと、各部のインジケータが点灯します。

## ② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。

## ③ <sup>オープン</sup>OPEN/<sup>クローズ</sup>CLOSEキー

ディスクトレイを開閉するキーです。

ディスクをセットしてこのキーを押しますと、ディスクトレイが閉じたあとに再生が自動的にスタートします。

再生中に押しますと、再生はストップしディスクトレイが開きます。

## ④ <sup>プレイ</sup>PLAYキー

再生をスタートさせるキーです。

ディスクトレイが開いているときに押しますと、トレイは閉まります。ディスクがセットされている場合は再生が自動的にスタートします。

## ⑤ <sup>ポーズ</sup>PAUSE/<sup>ストップ</sup>STOPキー

一度押しますとポーズ（一時停止）、もう一度押しますとストップ（停止）します。

- ディスクトレイが開いているときに一度押しますと、ディスクトレイは自動的に閉まり、最初に再生するチャプターまたはトラックの頭でポーズになります。

## ⑥ <sup>チャプター</sup>CHAPTER/<sup>トラック</sup>TRACKキー **LD CDV CD**

チャプターまたはトラックの頭出しをするキーです。

＋：再生中に押しますと、次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

－：再生中に押しますと、再生中のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

- 押し続けると連続的に頭出しを行います。（スキップ機能について→36ページ）
- プログラム再生のときは、次のプログラムに進めたり、戻したりすることができます。
- ポーズ中やストップ時にも頭出しをすることができます。

# フロントパネル各部の名称とはたらき

フロントパネル各部の名称とはたらき

## ⑨ ディスプレイ

本機の再生状態を表示します。

### CHAPTER/TRACKインジケータ

再生またはサーチ中のCHAPTERまたはTRACKの番号を表示します。

### INDEX/プログラム番号インジケータ

プログラム再生時はプログラム番号を、**CD**、**CDV**の通常再生時やインデックス再生時はインデックス番号を表示します。

### フレーム番号/トラックタイムインジケータ

CAVディスク(20cm・30cm CDV, LD)を再生中はフレーム番号を、CLVディスク(20cm・30cm CDV, LD, 12cm CDVのビデオパート)を再生中はタイム番号を、**CD**、**CDV**ディスクを再生中はトラックタイムを表示します。

### ANTインジケータ

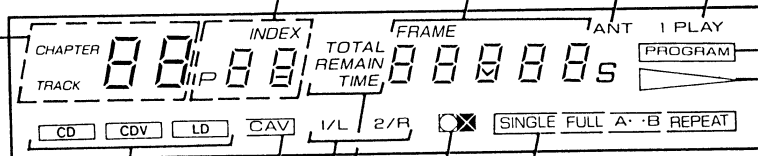
本機をRF接続(→11, 15ページ)しているときに、テレビ放送を視聴するときは、リモコンのVHF切換キーを押して、このインジケータを点灯させます。

### 1 PLAYインジケータ

一曲再生中に点灯します。

### PROGRAMインジケータ

プログラム再生時に点灯します。



### ディスクインジケータ

ディスクトレイにセットされているディスクの種類を点灯表示します。  
\*CDV-LDは**CDV**と**LD**の双方が点灯します。

### CAVインジケータ

CAVディスクを再生中に点灯します。

### 音声切換インジケータ

再生中の音声チャンネルを点灯表示します。

### CXインジケータ

CX NRで記録されたディスクを再生中に点灯します。

### PLAYインジケータ

再生中は点灯、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

### リピートインジケータ

リピート再生中に点灯し、リピート再生の種類を表示します。

### タイムインジケータ

CD, CDVディスクの再生中は、モードキーを押しますと、TIME(トラックごとの演奏経過時間)→TOTAL TIME(ディスクの頭からの演奏経過時間)→REMAIN TIME(ディスクの演奏残り時間)→TIMEの順に時間表示に内容が切り替わります。

## フロントパネル各部の名称とはたらき

### ⑦ <sup>サーチ</sup>SEARCH(早送り・早戻し)キー **LD CDV CD**

▶ : 再生中に早送りをするキーです。

◀ : 再生中に早戻しをするキーです。

押し始めの3秒間は低速で、その後は高速で早送り、早戻しをします。

- **LD** および **CDV** のビデオカート再生中に早送り、早戻しをしますと音声は消えます。
- **CD** **CDV** のオーディオカート再生中あるいはホーズ中に早送り、早戻しをしますと再生音が小さな音で聴くことができます。

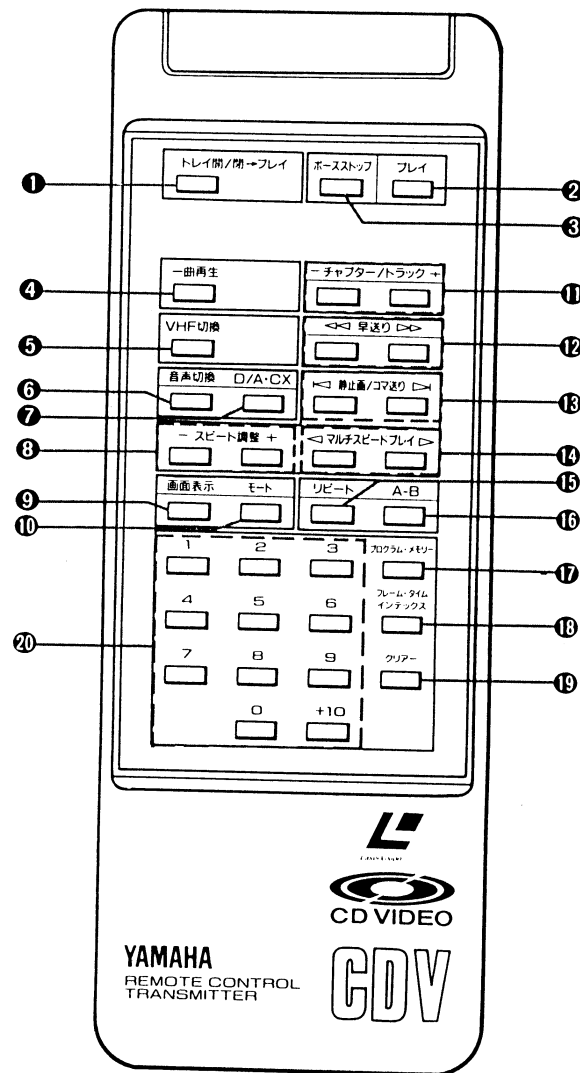
### ⑧ <sup>デジタル サウンド</sup>DIGITAL SOUNDインジケータ

デジタル音声を再生しているときに点灯します。

### ⑩ <sup>リモート コントロール</sup>REMOTE CONTROL(リモコン受光窓)

リモコンからの信号を受光する窓です。

## リモコン各部の名称とはたらき



## ① トレイ開 / 閉 → ブレイキー

ディスクトレイを開閉するキーです。

ディスクトレイを閉めますと自動的に再生がスタートします。

**20cm・30cm CDV LD** : ディスクの頭から自動的に再生します。

**12cm CDV** : ビデオパートから自動的に再生します。

**CD** : トラック1から自動的に再生します。

## ② ブレイキー **LD CDV CD**

再生をスタートさせるキーです。

ディスクトレイが開いているときに押しますと、トレイは自動的に閉まり、再生がスタートします。

- マルチスピード再生中あるいはコマ送り再生中に押しますと、通常の再生に戻ります。

## ③ ポーズ・ストップキー **LD CDV CD**

一度押しますとポーズ（一時停止）、もう一度押しますとストップ（停止）します。

- ディスクトレイが開いているときに一度押しますと、トレイは自動的に閉まり、最初に再生するチャプターまたはトラックの頭でポーズになります。

## ④ 一曲再生キー **LD CDV CD**

このキーを押して再生を開始したり、再生中にこのキーを押しますと、再生中のチャプターまたはトラックを再生後はポーズになります。

## ⑤ VHF 切換キー **LD CDV CD**

RF 接続（→11, 15ページ）をしているときに、テレビの画面を、本機の再生とテレビ放送の受信を切り換えるキーです。（テレビ放送を見るには→30ページ）

## ⑥ 音声切換キー **LD CDV CD**

音声をステレオ信号、L、R両チャンネルともL信号（第1原語）、あるいは両チャンネルともR信号（第2原語）に設定するキーです。キーを押すごとに、1/L、2/R → 1/L → 2/Rの順に切り換わります。（音声切換について34ページ）

- 電源を入れたときには1/L、2/R（ステレオ）に設定されています。

## ⑦ D/A・CX キー

**20cm・30cm CDV LD** : ディスクのなかにはデジタル音声とアナログ音声の双方で音声記録され、再生時に音声を選択できるものがあります。その選択をするキーです。

またCX NRをマニュアルでON/OFFするディスクの場合には、このキーでONにします。（音声切換について→34ページ、CX NRについて→34ページ）

**12cm CDV CD** : このキーは機能しません。

## ⑧ スピード調整キー

**20cm・30cm CDV LD** : CAV / 標準ディスクでマルチスピード再生をするときに、再生スピード（10段階）を選択するキーです。+キーを押しますと再生スピードが早くなり、-キーを押しますと、遅くなります。（マルチスピード再生 → 49ページ）

画面表示	* 12	* 3	.....
速度	12倍速	3倍速	.....

**12cm CDV CD** : このキーは機能しません。

## ⑨ 画面表示キー

**20cm・30cm CDV LD** : CAV / 標準ディスクを再生中にキーを押しますと、画面にチャプターナンバーとフレームナンバーが表示されます。CLV / 長時間ディスクを再生中にキーを押しますと、チャプターナンバーとタイムナンバーが表示されます。  
\* ディスクによっては、チャプターナンバーの表示されないものがあります。

**12cm CDV** : ビデオパート再生時はトラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイムを表示します。またオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。

**CD** : このキーは機能しません。

## リモコン各部の名称とはたらき

### ⑩モードキー

**LD** : このキーは機能しません。

**20cm・30cm CDV** : 再生またはポーズ中にこのキーを押しますと、キーを押すごとにフレームナンバー (タイムナンバー) →トラックタイム (TIME: 再生中のトラックの頭からの経過時間) →トータルタイム (TOTAL TIME: ディスクの頭からの経過時間) →リメインタイム (REMAIN TIME: ディスクの演奏残り時間) の順に表示が切り換わります。

**12cm CDV** : 再生またはポーズ中にこのキーを押しますと、キーを押すごとにトラックタイム (TIME: 再生中のトラックの頭からの経過時間) →トータルタイム (TOTAL TIME: オーディオパートあるいはビデオパートの頭からの経過時間) →リメインタイム (REMAIN TIME: ビデオパートあるいはオーディオパートの演奏残り時間) の順に表示が切り換わります。

**CD** : 再生またはポーズ中にこのキーを押しますと、キーを押すごとにトラックタイム (TIME: 再生中のトラックの頭からの経過時間) →トータルタイム (TOTAL TIME: ディスクの頭からの経過時間) →リメインタイム (REMAIN TIME: ディスクの演奏残り時間) の順に表示が切り換わります。

### ⑪チャプター/トラックキー **LD CDV CD**

チャプターまたはトラックの頭出しをするキーです。

+ : 再生中に押しますと、次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生しもう一度押しますと、その次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

- : 再生中に押しますと、再生中のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生し、もう一度押しますと、その前のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

- 押し続けると連続的に頭出しを行います。(スキップ機能について→36ページ)
- プログラム再生時は次のプログラムに進めたり、前のプログラムに戻したりすることができます。
- ポーズ中やストップ時にも頭出しをすることができます。

### ⑫早送りキー **LD CDV CD**

**▷▷** : 再生中に早送りするキーです。

**◁◁** : 再生中に早戻しするキーです。

- LD、20cm・30cm CDV および12cm CDV のビデオパート再生中は早送り、早戻しをしますと音声は消えます。
- CD、12cm CDV のオーディオパート再生中およびポーズ中に早送り、早戻しをしますと再生音を小さな音で聴くことができます。(早送り・早戻しについて→27ページ)

### ⑬静止画/コマ送りキー

#### **20cm・30cm CDV LD**

**⏸** : CAV/標準ディスクを再生中に、正方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。

一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。

**⏪** : CAV/標準ディスクを再生中に、逆方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。

一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。

(静止画・コマ送り再生→50ページ)

- 押し続けた場合は0.3秒ごとにコマ送り再生が行われます。
- 静止画/コマ送り再生中は音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクでは静止画・コマ送り再生はできません

**CDV CD** : このキーは機能しません。

### ⑭マルチスピードプレイキー

#### **20cm・30cm CDV LD**

**▷** : CAV/標準ディスクの再生中、スピード調整キーで選択した速さで正方向に再生します。

**◁** : CAV/標準ディスクの再生中、スピード調整キーで選択した速さで逆方向に再生します。

- マルチスピード再生時は音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクではマルチスピード再生はできません。

**12cm CDV CD** : このキーは機能しません。



## ⑮ リピートキー **LD CDV CD**

シングルリピート、フルリピート、プログラムリピートを行うときに、その指定や解除をするキーです。

キーを押すごとに、REPEAT S→REPEAT F→REPEAT OFFの順に切り換わります。(リピート再生→51ページ)

## ⑯ A-Bキー **LD CDV CD**

A-Bリピート(任意に指定した2点間のリピート)をするときに使います。

(A-Bリピート→52ページ)

## ⑰ プログラム・メモリーキー **LD, CDV, CD**

再生したいチャプターまたはトラックを任意の順番で再生するときに、そのセットや確認を行うキーです。(プログラム再生→45ページ) またメモリー再生をするときにも使います。(メモリー再生→47ページ)

## ⑱ フレーム・タイム/インデックスキー **LD CDV CD**

CAV/標準ディスクの再生時にフレームナンバーサーチを行うとき、またCLV/長時間ディスク再生時にタイムナンバーサーチを行うときに使います。(フレームナンバーサーチ→39ページ、タイムナンバーサーチ→40ページ)

またインデックス再生(インデックスサーチ→44ページ)を行なうときに使います。

## ⑲ クリアーキー **LD CDV CD**

指定したフレームナンバー、タイムナンバー、プログラム曲番やモードをクリアするキーです。

## ⑳ テンキー (1~0, +10数字キー) **LD CDV CD**

チャプターナンバー、フレームナンバー、タイムナンバーおよびトラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイム、トータルタイム、リメインタイムおよびプログラム曲番などを指定するキーです。

### ■ +10キーの使いかた

・+10キーは押すごとに、10の位を1□、2□、…8□、9□、0□の順番に表示します。

例えば、15を指定するときは…+10キー、5キーを押します。

46では+10、+10、+10、+10キー、6キーと押します。

・+10キーを押し、1の位を4秒以内に入力しめないと、自動的に1の位を0として働きます。

・+10キーでフレームナンバー、フレームタイム、タイムナンバーを指定することはできません。

### メモ

下記のキーは、名称・表示は異なりますが、その機能は同じです。

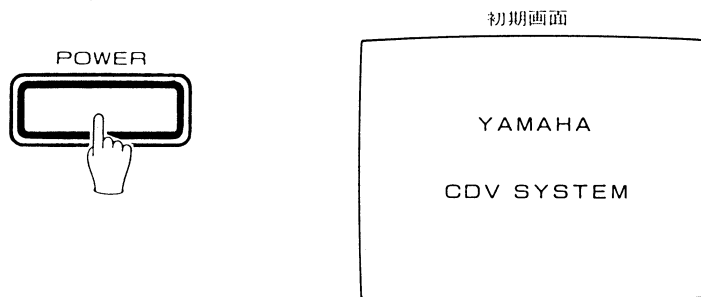
本取扱説明書はリモコンによる操作を中心に説明していますが、下記のキーによる操作は、本体のキーおよびリモコンのキーのいずれをご使用になりにしても、同様の操作をすることができます。

本体		リモコン
OPEN/CLOSEキー	←→	トレイ開/閉→プレイキー
PLAYキー	←→	プレイキー
PAUSE/STOPキー	←→	ポーズ・ストップキー
CHAPTER/TRACKキー	←→	チャプター/トラックキー
◀◀ SEARCH ▶▶	←→	◀◀早送りキー▶▶

# 再生のしかた 基本操作 **LD CDV CD**

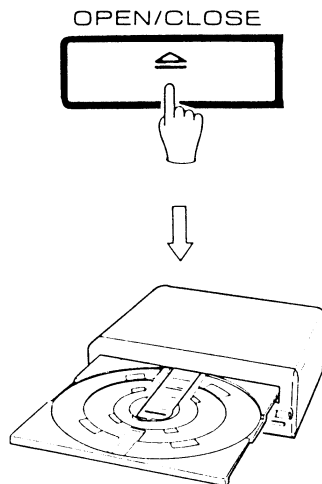
## 1 本機および接続した各機器の電源を入れます。

\*CDV、LDを再生するときは、接続したテレビを本機の再生ができるようにセットします。



## 2 ディスクトレイを開けます。

本体のOPEN・CLOSEキー、またはリモコンのトレイ開閉キーを押します。



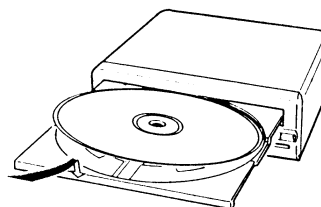
## 3 ディスクをセットします。

**20cm・30cm CDV LD**

：再生したいレーベル面を上にしてセットしてください。

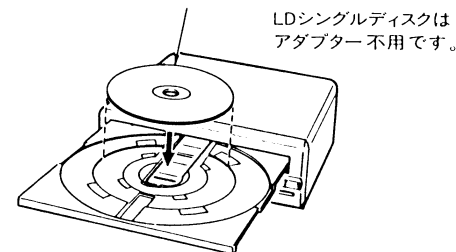
### ●30cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして30cmのガイドの内側に確実にセットします。



### ●20cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして20cmのガイドの内側に確実にセットします。

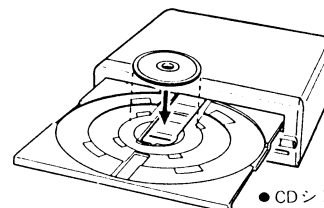


●片面ディスクで裏面が不透明なアクリル樹脂製のものを再生する場合、レーベル面(アクリル樹脂側)を上向きに、キラキラ光る側の面を下向きにセットしてください。逆向きにセットすると故障の原因となります。

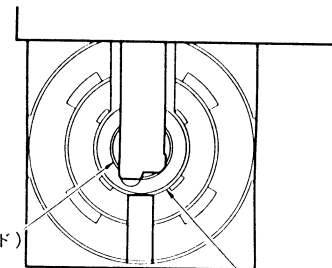
**12cm CDV 8cm・12cm CD**

：12cm CDVおよびCDの信号は片面だけに記録されています。レーベル面を上にしてセットしてください。

レーベル面を上にして各々のディスクガイドの内側にセットします。



●CDシングル  
(8cmディスク用ガイド)  
アダプターから外して  
セットします。

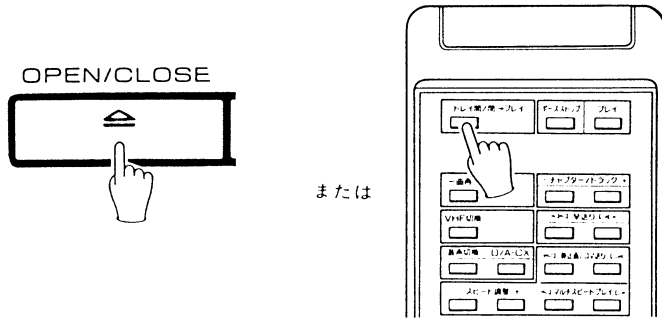


12cm CDV CD用  
ガイド

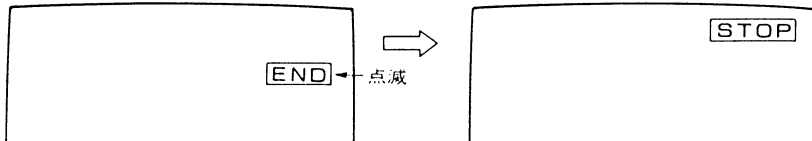
ディスクトレイのガイドにディスクのふちを合わせて確実にセットします。誤ってずれたままトレイを閉めた場合には、速やかにトレイを開き、セットし直してください。ずれたまま動作させますとディスクを傷つけるだけでなく、本体の故障の原因となる場合があります。

**4** ディスクトレイを開めると再生が始まります。  
 本体のOPEN/CLOSEキーあるいはPLAYキー、またはリモコンのトレイ開閉キーあるいはプレイキーを押します。

- \* ディスクトレイは手で軽く押しでも開めることができます。
- 20cm・30cm CDV LD** : ディスクの頭から再生がスタートします。
- 12cm CDV** : ビデオパートから再生がスタートします。
- CD** : トラック1(1曲目)から再生がスタートします。



**5** 再生が終了しますとストップ状態になります。

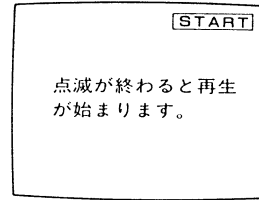


● 12cm CDVはビデオパートの再生が終了しますと、自動的にオーディオパートのトラック1の再生に移り、オーディオパートがすべて終了しますとストップします。

異なる種類のディスク(例えばLDからCD)を続けて演奏をしますと、後から演奏するディスクの情報を本機が読みこむまでは、前のディスクの表示(例えばCHAPTERあるいはTRACKなど)をしています。

■ スタート時の表示について

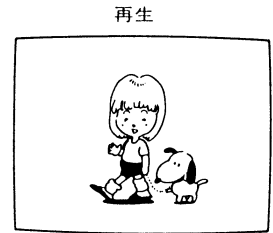
**20cm・30cm CDV LD**



ディスクの情報が画面表示されます。(CAV、CLV、SIDE-A、SEARCHなど)



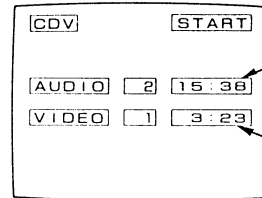
(再生が始まるまで多少時間がかかります。)



**12cm CDV**

オーディオパートの総曲数、総演奏時間、ビデオパートの総曲数、総演奏時間が表示されます。

例) オーディオパート 2 曲、総再生時間 15分38秒  
 ビデオパート 1 曲、再生時間 3分23秒のディスクをセットしますと

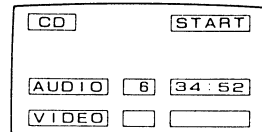


オーディオパート  
ビデオパート

ビデオパート再生時



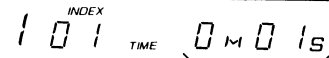
**CD**



オーディオパート再生時  
トラックタイム  
再生時  
トラックインデックスナンバー  
トラックナンバー

CD再生時にも画面にはCDの総曲数、総演奏時間、演奏状態が表示されます。

(CD再生時はビデオパート表示は空欄です)



ディスプレイ

1曲目の経過時間を表示

12cm CDVは自動的にビデオパートから再生がスタートしますので、再生開始時はビデオパートのトラックナンバーを表示します。

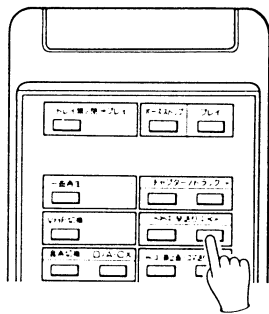
## 再生のしかた

### ■早送り・早戻しについて

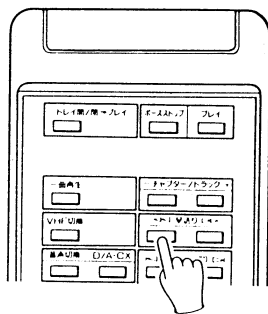
本体のSEARCHキーまたはリモコンの早送りキーを使いますと、再生したいところを探することができます。

[>] キーを押しますと早送り、[<] キーを押しますと早戻しになります。押し始めの3秒間は中速で、その後は高速で早送り再生となります。

#### ●早送り



#### ●早戻し



\*ポーズ中にも早送り、早戻しはできますが、ストップ状態のときは早送り・早戻しはできません。

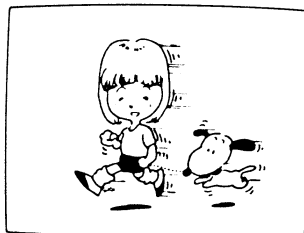
### 20cm・30cm CDV LD

キーを押している間だけ早送り・早戻しの画像が見られますが、そのとき音声は消えます。

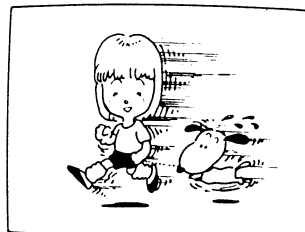
\*CLV/長時間ディスクでは画像が乱れることがあります。

#### ●早送り

最初の3秒間中速

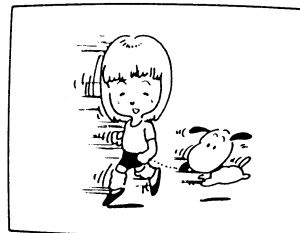


3秒経過後高速

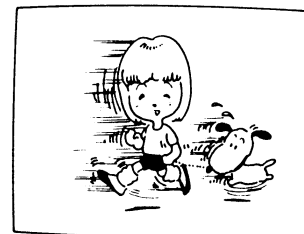


#### ●早戻し

最初の3秒間中速



3秒経過後高速



### 12cm CDV

#### ●ビデオパートを再生中やポーズ中は

キーを押し続け、再生したいところになりましたらキーから指を離します。その位置から再生またはポーズになります。

\*ビデオパートを再生中に早送りまたは早戻しを行いますと音声は消えます。また画像が乱れることがあります。

#### ●オーディオパートを再生中やポーズ中は

早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聞こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズになります

### CD

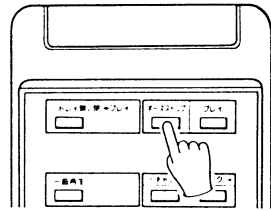
早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聞こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズになります。

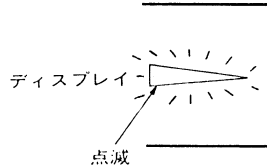
## ■再生を一時止めるには……ポーズ **LD CDV CD**

本体のPAUSE/STOPキーまたはリモコンのポーズ・ストップキーを一回押します。

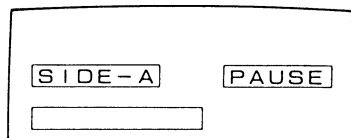
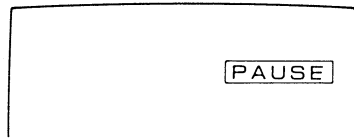
音声または映像は、その位置で一時停止します。(ディスクは回転を続けています。)



ポーズ中は“PLAY”インジケータが点滅します。

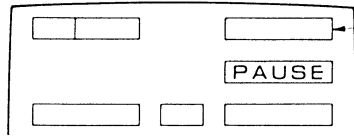


**20cm・30cm CDV LD**



または 画面に PAUSE が表示されます。またフレームナンバーまたはタイムナンバーが赤色に変わります。

**12cm CDV CD**



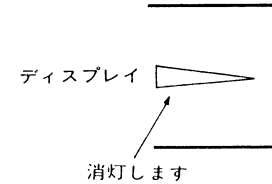
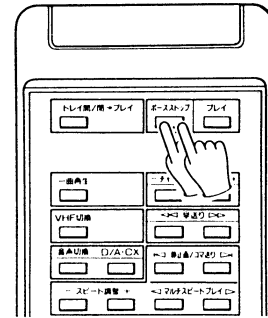
→タイム表示が赤色に変わります。

## ■再生を止めるには……ストップ

本体のPAUSE/STOPキーまたはリモコンのポーズ・ストップキーを二回押します。

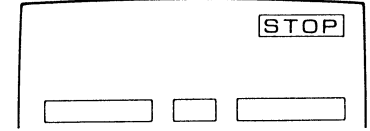
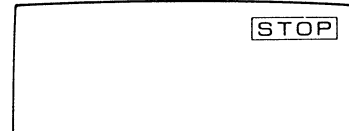
ストップ(停止)状態になり、ディスクの回転は停止します。

プレイキーを押しますとディスクの頭から再生がスタートします。(12cm CDVはビデオパートの頭から再生がスタートします。)



**20cm・30cm CDV LD**

**12cm CDV CD**



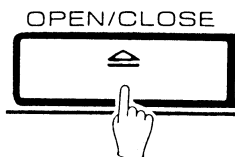
ストップ状態になります。

- \* 再生を再開する場合はプレイキーを押します。
- \* ホーズ中にもう一度ポーズ・ストップキーを押しますと、ストップ状態になります。
- \* プレイキーの替りに一曲再生キーを押して再生をスタートさせたり、再生中に一曲再生キーを押しますと、そのチャプター/トラックの再生終了後は自動的にポーズとなります。

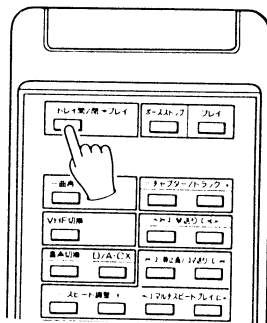
## 再生のしかた

### ■ディスクの取り出しかた

本体のOPEN/CLOSEキーまたはリモコンのトレイ開閉キーを押します。  
ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。



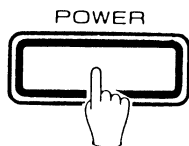
または



ディスクトレイが開いたらディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

### ■再生を終えるときは

ディスクトレイ内にディスクが無いことを確認してからディスクトレイを閉め、本体のPOWERスイッチを押して電源を切ります。



#### ご注意

- 再生中は本機を動かさないでください。  
再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりしますとディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動などするときは必ず再生を止め、ディスクを取り出してください。
- ディスクトレイに不要物を入れないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを避けるためにディスクトレイは閉めておいてください。
- 一度にセットできるディスクは1枚です。LDとCDVやCDを重ねてセットしますと、ディスクを傷付けたり、本機の故障の原因ともなりますので絶対におやめください。またディスクトレイにはディスク以外のものをセットしないでください。
- 引き出したままのディスクトレイに強い力（特に上下方向）を加えますと本機の故障の原因となります。また本機が落下する危険もあります。

# テレビ放送を見るには **LD CDV CD**

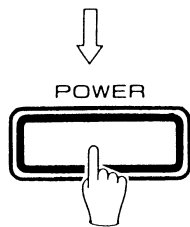
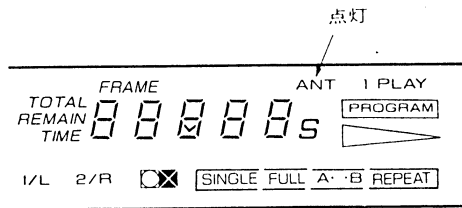
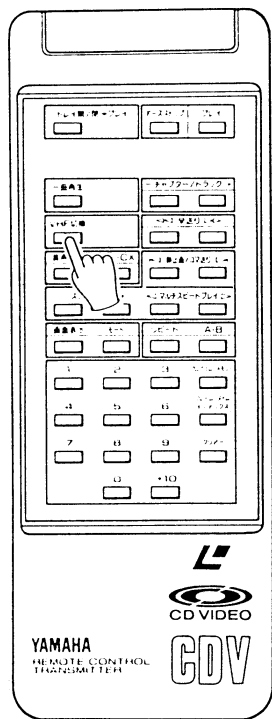
## ■映像・音声入力端子なしテレビの場合

① (10ページの接続例A、Bの接続をしている場合)  
リモコンのVHF切換キーを押し、本体のディスプレイの“ANT”インジケータを点灯させます。

② テレビで見たいチャンネルを選びます。

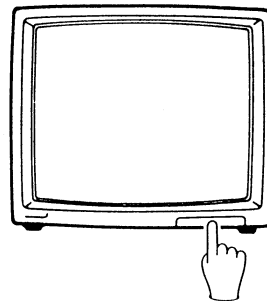
\* VHFアンテナは本機を經由してテレビにつながります。

\* ディスクを再生中に“ANT”インジケータを点灯させた場合には、画面はテレビ放送に切り換わっていますが、ディスクは再生を続けています。長時間テレビ放送をご覧になる場合は、ディスクを取り出し、本機のPOWERスイッチを切ってください。

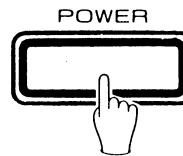


## ■映像・音声入力端子付テレビの場合

① テレビのチャンネルまたはテレビ/ビデオ切換スイッチを“テレビ”に切り換えます。(テレビの取扱説明書をご参照ください。)  
見たいチャンネルを選びます。



② 本機のPOWERスイッチを切ります。

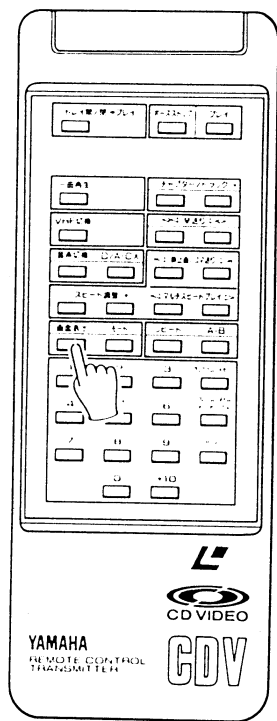


### ご注意

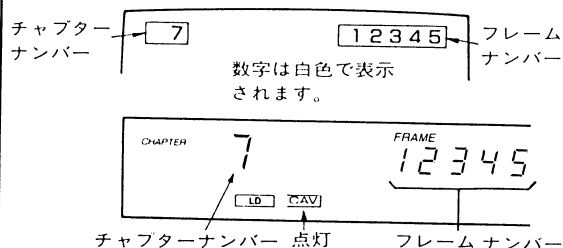
テレビ放送の電波が弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面にしぼり模様が出る場合がありますが故障ではありません。このような場合は、本機のPOWERスイッチを押して電源を切ってください。

# 画面表示について **20cm・30cm CDV LD**

再生中に画面表示キーを押しますと、チャプター、フレームまたはタイムナンバー（時間）が表示され、もう一度押しますと表示が消えます。

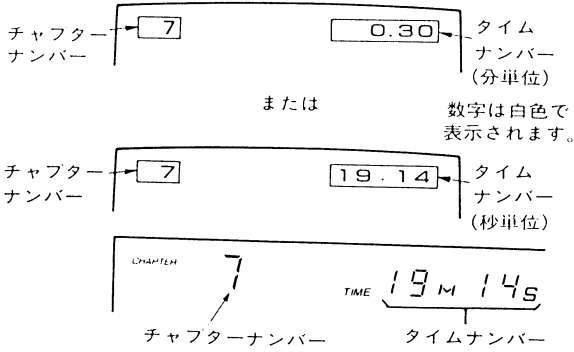


CAV/標準ディスクの場合、チャプターとフレームナンバーが表示されます。



チャプターナンバー 点灯 フレームナンバー

CLV/長時間ディスクの場合、チャプターとタイムナンバーが表示されます。



チャプターナンバー タイムナンバー

## ●ディスプレイオフ機能について

ディスクトレイが開いているときに画面表示キーを押しますと、ディスプレイオフ機能が働き、それ以降の本機の操作状況の画面表示 (OPEN, CLOSE, SEARCH など自動的に表示されるものを含め) をさせなくすることができます。

この機能を解除するときは、ディスクトレイが開いているときに再度画面表示キーを押してください。また一度電源が切れますとディスプレイオフ機能は解除されません。

●ディスプレイオフにしているときにポーズさせますと、画面には何も表示されませんので、ご注意ください。

## メモ

LDや20cm・30cm CDVディスクには映像・音声と同時に、チャプターナンバー、フレーム(タイム)ナンバーが記録されています。

※20cm・30cm CDVにはインデックスナンバーが記録されているものがあります。

### チャプターナンバー(CAV/標準ディスク・CLV/長時間ディスク)

ディスクプログラムの区切りを示します。書物における“章”番号に相当します。

※ディスクのなかにはチャプターナンバーの記録されていないものもあります。

### フレームナンバー(CAV/標準ディスク)

ディスクプログラムのはじめから、1つ1つの画面に連続して付けられている番号です。書物における“ページ”に相当します。

### タイムナンバー(CLV/長時間ディスク)

ディスクのはじめからプレイモードで再生した場合の経過時間の表示です。

ディスクによって分単位のもの秒単位のものがあります。

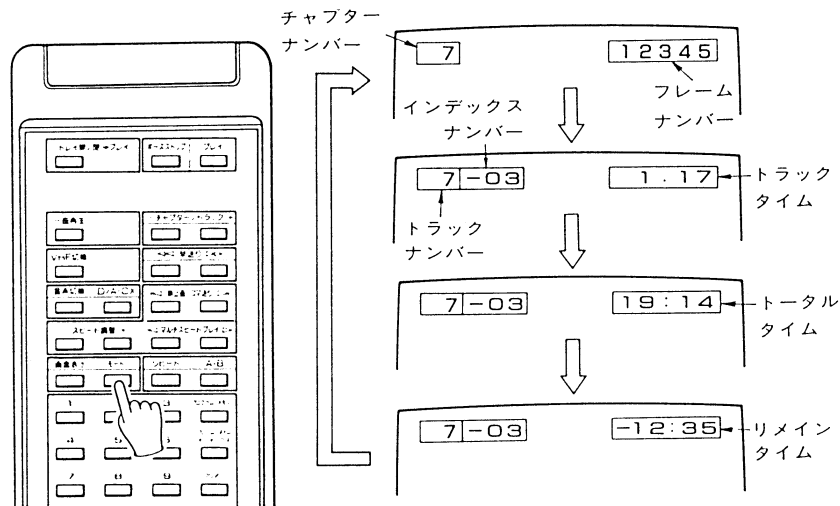
●20cm・30cm CDVおよび12cm CDVのビデオパート再生中に画面表示キーを押しますと、トラックナンバー、インデックスナンバー、タイムナンバー（トラックタイム）が表示されます。



# モード表示について **CDV CD**

## 20cm・30cm CDV

再生またはポーズ中にモードキーを押しますと、キーを押すごとにディスプレイおよび画面表示が下ののように切り換わります。



トラックタイム(TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム(TOTAL TIME) = ディスクの頭からの経過時間

リメインタイム(REMAIN TIME) = ディスクの演奏残り時間

## 12cm CDV

「ビデオパートの再生またはポーズ時」

モードキーを押しますと、ディスプレイ表示をトラックタイム→トータルタイム→リメインタイムの順に切り換えることができます。

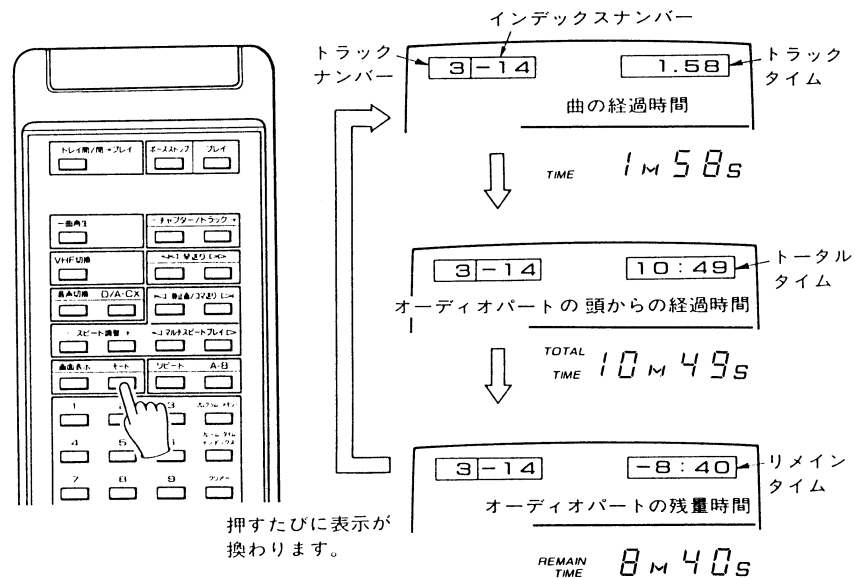
トラックタイム(TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム(TOTAL TIME) = ビデオパートの頭からの経過時間

リメインタイム(REMAIN TIME) = ビデオパートの演奏残り時間

「オーディオパートの再生またはポーズ時」

モードキーを押しますと、ディスプレイおよび画面表示が下ののように切り換わります。



トラックタイム(TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム(TOTAL TIME) = オーディオパートの頭からの経過時間

リメインタイム(REMAIN TIME) = オーディオパートの演奏残り時間

## CD

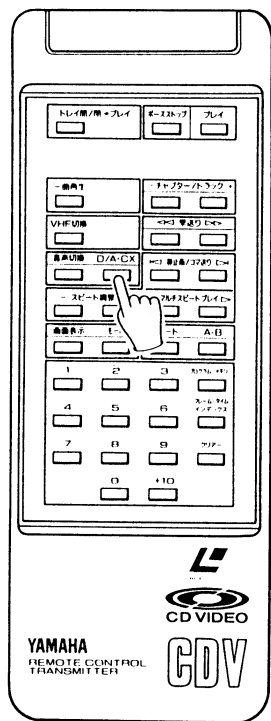
モードキーを押しますと CDV のオーディオパート再生またはポーズ時と同時にディスプレイおよび画面表示が変わります。

- 操作のしかたは、12cm CDVの「オーディオパート再生時」の項をご参照ください。
- 画面表示キーを押して、画面に表示させていないときや、ディスプレイオフ機能が働いているときは、画面表示されません。
- LD再生時はモードキーは働きません。

# デジタル/アナログ音声切換について **20cm・30cm CDV LD**

20cm・30cmCDVやLDのなかには、音声デジタルとアナログの両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。（ディスクのジャケットの記載をご確認ください）

本機は、デジタル音声で記録されているディスクを再生しますと、自動的にデジタル音声を選択して再生（**digital SOUND**のインジケータが点灯）します。アナログ音声を選択するときは、D/A・CXキーを押して**digital SOUND**のインジケータを消灯させてください。



**digital  
SOUND**

アナログ音声で再生するときは  
このインジケータを消灯させます。

## ■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクの再生

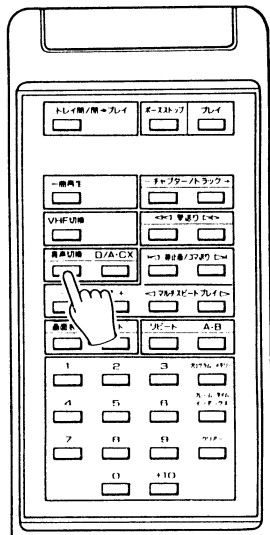
**digital MULTI AUDIO** マークが記載されているデジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクはデジタル音声とアナログ音声それぞれに異なる内容が記録されています。再生時は音声切替キーとD/A・CXキーの操作を組み合わせ、ご希望の音声を選択してください。

	デジタル音声	アナログ音声
映画、アニメなど	本編の音声 (作品の音声)	サウンドトラック (音楽)
デュアルミュージック	ミュージック 1	ミュージック 2
ステレオ音声多重 カラオケ	カラオケ	アシスタント ボーカル
バイリンガル (二ヶ国)	日本語	英語などの外国語
トライリンガル (三ヶ国)	日本語	1L: 英語などの外国語 2R: (ドイツ語)第2外国語
クワドリリンガル (四ヶ国)	1L: 日本語 2R: 英語などの外国語	1L: (ドイツ語)第3外国語 2R: (フランス語)第4外国語

※ディスクのなかにはアナログ音声のみで記録されたバイリンガルディスクもあります。

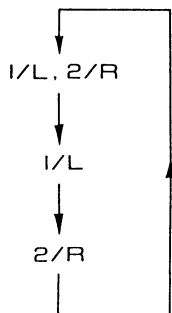
# 音声切換について **LD CDV CD**

本機は電源を入れたときはステレオモード(1/Lと2/Rのインジケーターが点灯)に設定されていますが、リモコンの音声切換キーを押すごとに1/L,2/R(ステレオ)→1/L→2/R→1/L,2/Rの順に切り換わります。音声多重ディスクやバイリングルディスクを再生するときなど、必要に応じて切り換えてください。



CAV 1/L 2/R  SINGLE

ステレオで再生するときは両方のインジケーターを点灯させます。



「音声切換キーによる音声の再生」

表示	VHF OUT端子および MONO OUT端子	AUDIO SIGNAL端子	
		L	R
1/L, 2/R	1/L, 2/Rのミックス (モノラル)	1/L	2/R
1/L		1/L	
2/R			2/R

● ディスクトレイを開閉しますと選択したモードはキャンセルされ、自動的にステレオモードに戻ります。

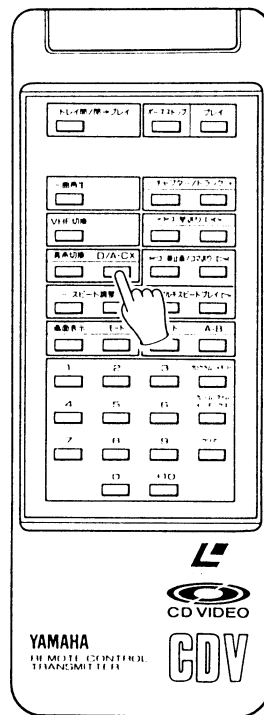
# CX NRについて **20cm・30cm CDV LD**

20cm・30cm CDVやLDのなかには  マークの記載されたものがあります。このマークはCX NR (CXノイズリダクション) を使って音声記録されていることを示しています。CX NRはS/N比を向上させ、ダイナミックレンジを拡大しますので、雑音の少ない迫力ある再生音を生み出します。(ジャケットの  マークをご確認ください。)

本機はCX NRディスクを再生しますとそれを検出し、自動的にCX NRシステムが働き、CXインジケーターが点灯します。

また一部ディスクにはCX NR自動検出コードを持っていないディスクがあります。そのようなディスクを再生する場合は、D/A・CXキーを押して本機のCX NRシステムをONにしてください。

● CX NRが自動的に検出されるディスクは、CX NRをON/OFFにすることはできません。



CAV 1/L 2/R  SINGLE FULL

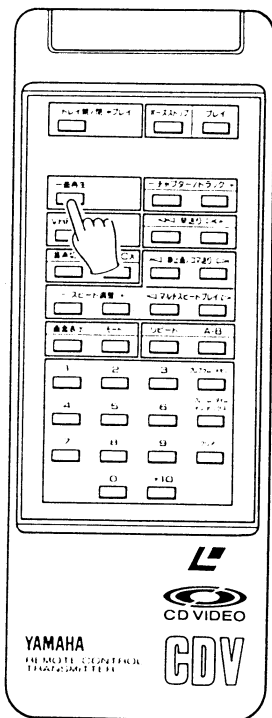
点灯させます

\*  はCBSの登録商標です。

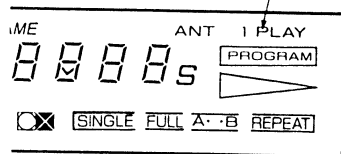
# 一曲再生 LD CDV CD

カラオケディスクなどを再生するときは、プレイキーの替りに一曲再生キーを押して再生をスタートさせたり、再生中に一曲再生キーを押しますと、そのチャプターまたはトラックが終了しますと自動的にポーズ状態になります。

- 一曲再生は再生中にプレイキーを押すと解除され、通常の再生に戻ります。
- チャプターナンバーの記録されていないディスクでは一曲再生できません。
- 一曲再生中はディスプレイの「1 PLAY」インジケーターが点灯します。



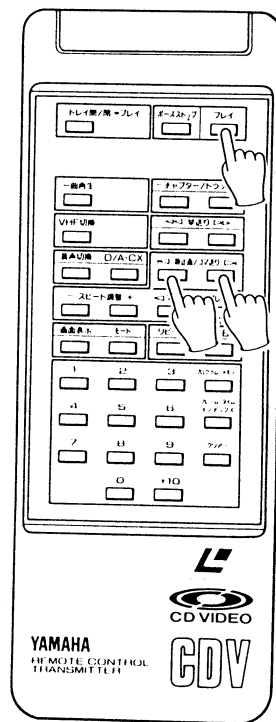
一曲再生中に点灯します



## ■ピクチャストップについて LD

ピクチャストップコードが記録されているディスクを再生しますと、コードで指定されているフレーム（画面）まで再生されますと、自動的に静止画となります。その場合は、プレイキーや静止画 / コマ送りキーを使って、画面を次のステップへ進めたり、前のステップへ戻すことができます。

\*ピクチャストップについてはディスクの解説書をご参照ください。



# スキップ機能について

## 20cm・30cm CDV LD

頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。

- 20cm・30cm CDV** でチャプタースキップをするときは、モードキーを押してチャプター表示にします。

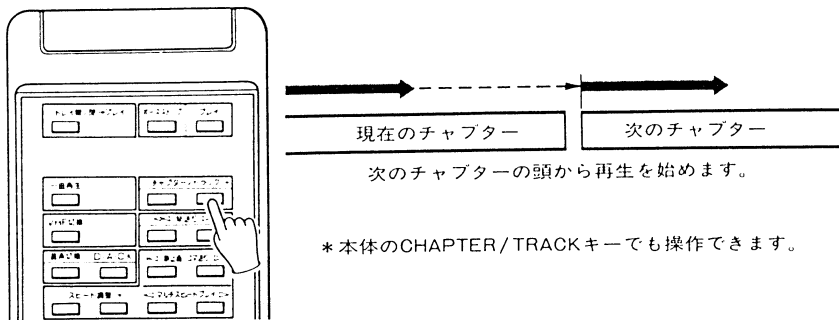
## ■チャプタースキップ

次のチャプターの頭まで飛んで(スキップ)再生を開始したり、現在再生中のチャプターの頭に戻って再生を始めることができます。

- 次のチャプターの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

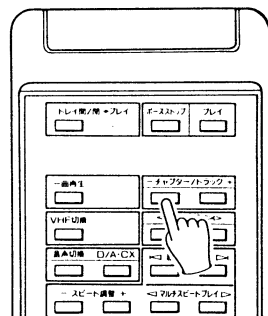
繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

ディスクに記録されているチャプターナンバー以上にスキップしようと“END”表示後ストップ状態になります。

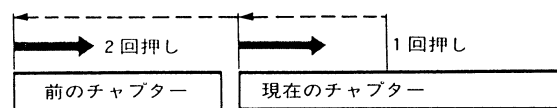


- 再生中のチャプターの頭に戻って再生する場合は“-”キーを押します。

1回押しますと、そのチャプターの頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のチャプターの頭に戻り再生を開始します。



“-”キーを2回押します。  
(1回押すと現在再生中のチャプターの頭に戻ります。)



\* 本体のCHAPTER/TRACKキーでも操作できます。

- ポーズ中やストップ状態でもチャプタースキップすることができます。
- 繰り返して押しますと、前の前のチャプターへスキップすることができます。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のチャプターにスキップします。
- チャプターの記録されていないディスクではチャプタースキップできません。

## CDV CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- ビデオパートを再生中に頭出し操作を行いますと、映像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でトラックスキップをするときは、モードキーを押してトラック表示にします。

## ■トラックスキップ

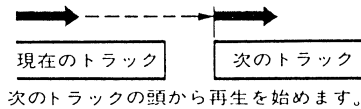
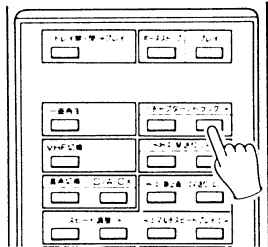
次のトラックの頭まで飛んで(スキップ)再生を開始したり、現在再生中のトラックの頭に戻って再生を始めることができます。

- 次のトラックの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

# サーチ機能について

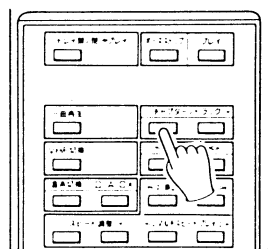
## 20cm・30cm CDV LD



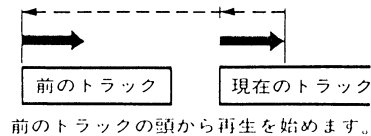
\* 本体のCHAPTER/TRACKキーでも操作できます。

- 再生中にディスクの最後のトラックまでスキップしますと、それ以上のトラックスキップは受け付けず、最後のトラックが再生されます。
- ポーズ中やストップ状態でもトラックスキップをすることができます。
- ディスクトレイが開いているときなど、ディスクの情報を読み込まれるまえに、ディスクに収録されている以上のトラックナンバーを指定し再生しますと、“END”表示後にストップ状態になります。

- 再生中のトラックの頭に戻って再生する場合は、“-”キーを押します。一回押しますと、その曲の頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のトラックの頭に戻ります。



“-”キーを2回押します。  
(1回押すと現在再生中のトラックの頭に戻ります。)



\* 本体のCHAPTER/TRACKキーでも操作できます。

- 繰り返して押しますと、押すごとに前のトラックへスキップすることができます。ディスクの頭までスキップしますと、それ以上は受け付けず最初のトラックの再生が始まります。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のトラックにスキップします。

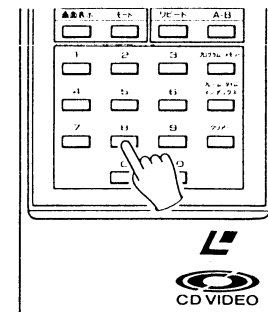
頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でチャプターサーチをするときは、モードキーを押してチャプター表示にします。

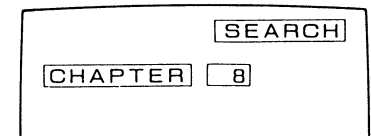
## ■チャプターサーチ

- 1 テン(1~0, +10)キーで頭出しをするチャプターを指定します。選択されたチャプターの頭から再生がスタートします。

(例) チャプター8をサーチするには



リモコンのテンキー“8”を押しますと、自動的にチャプター8のサーチを開始します。



- ポーズ状態でチャプターサーチをしますと、指定したチャプターの頭でポーズになります。
- CAV/標準ディスクの場合、サーチ中にマルチスピードプレイキーや静止画・コマ送りキーを押しますと、サーチ後はそのモードで再生されます。
- ディスクをセットしテンキーでチャプターを指定しますと、ディスクトレイは自動的に閉まり、指定したチャプターから演奏がスタートします。
- ディスクに記録されているチャプターナンバー以上の数を指定しますと、サーチ後は“END”を表示し、ストップ状態になります。

## CDV

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- **20cm・30cm CDV** でトラックサーチをするときは、モードキーを押してトラックタイム表示にします。

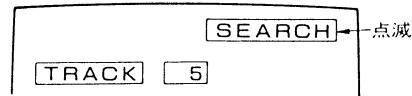
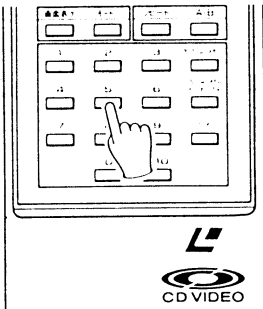
## ■トラックサーチ

**1** テン(1~0, +10)キーで頭出しをするトラックを指定します。

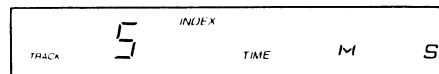
選択されたトラックの頭から再生がスタートします。

- ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後は“VIDEO END”を表示し、ストップ状態になります。12cm CDVは“VIDEO END”表示後にオーディオパートの再生に移ります。

(例) トラック5を再生するには



リモコンのテンキー“5”を押しますと、自動的にトラック5のサーチを開始します。



- ホーズ状態でトラックサーチをしますと、指定したトラックの頭でホーズになります。
- ディスクをセットしテンキーでトラックサーチをする曲を指定しますと、ディスクトレイは自動的に閉まり、指定したトラックから再生がスタートします。

## CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- トラックサーチの方法はCDVと同様です。CDVの項をご参照ください。
- ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後“END”を表示しストップ状態になります。

# フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ

LD、20cm・30cm CDVではフレームナンバーまたはタイムナンバーを利用して目的の映像を呼び出すことができます。

## ■フレームナンバーサーチ

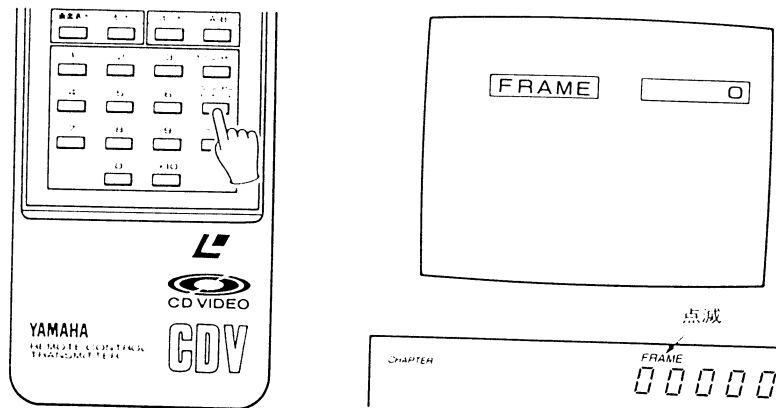
### 20cm・30cm CDV LD(CAV/標準ディスク)

フレームナンバーを指定すれば、その画面から再生を行なうことができます。

- ディスクトレイの開閉動作中は、フレームナンバーサーチはできません。
- **20cm・30cm CDV** でフレームナンバーサーチをするときは、モードキーを押してフレームナンバー表示にします。

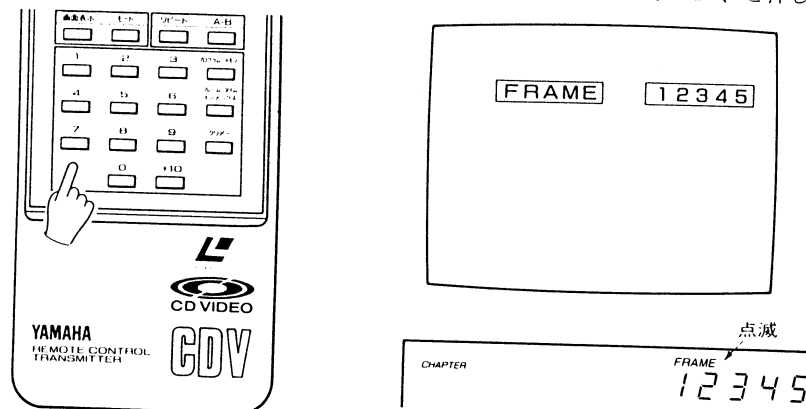
例) …12345番のフレームの映像をサーチするには

- 1 フレーム・タイムキーを押し、画面にフレームナンバー<sup>インプット</sup>入力表示を出します。



- 2 テン(1~0)キーでフレームナンバーを指定します。

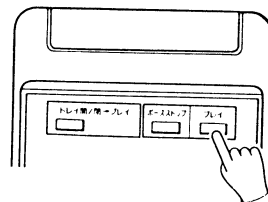
この場合は「1」、「2」、「3」、「4」、「5」と押します



フレームナンバーを変更するときは、クリアキーを押してから新しいフレームナンバーを指定しなおしてください。  
またクリアキーを2回続けて押しますと、フレームナンバーサーチを解除することができます。

- 3 プレイキーを押します。

サーチ後、指定したフレームから再生がスタートします。



- フレームサーチ後、静止画再生にしたい場合は、プレイキーを押すかわりに 静止画/コマ送りキー (⏪ または ⏩) を押します。
- フレームナンバーサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押します。



# 20cm・30cm CDV LD

画面単位で呼び出すには

## ■タイムナンバーサーチ

### 20cm・30cm CDV LD (CLV/長時間ディスク)

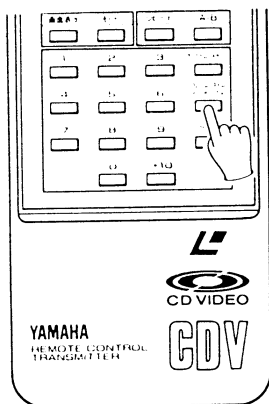
ディスクの任意の時間を指定し、そこから再生を行うことができます。ディスクによっては時間表示が「分」単位のもの、「秒」単位のものがあります。「分」単位のディスクでは一分間隔のタイムサーチとなり、秒単位のディスクでは一秒間隔のタイムサーチとなります。

● ディスクトレイの開閉動作中はタイムナンバーサーチはできません。

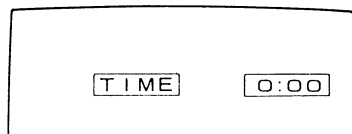
● **20cm・30cm CDV** でタイムナンバーサーチをするときは、モードキーを押してタイムナンバー表示にします。

例)・・・ディスクの頭から24分の画面をサーチするには

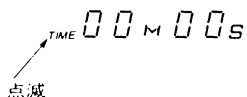
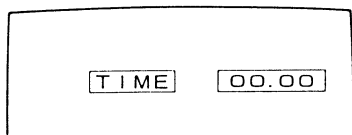
**1** フレーム・タイムキー<sup>インプット</sup>を押し、画面にタイムナンバー入力表示を出します。



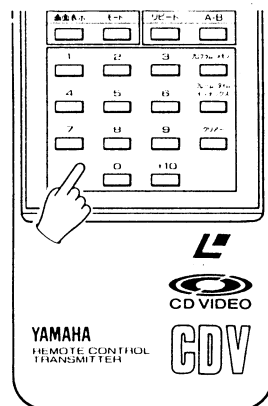
分単位のディスクの画面



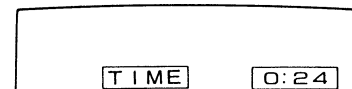
秒単位のディスクの画面



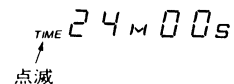
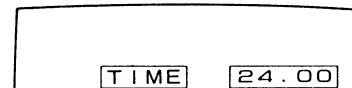
**2** テン(1~0)キーでタイムナンバーを指定します。



分単位ディスクのときは  
[2][4]と押します。



秒単位ディスクのときは  
[2][4][0][0]と押します。

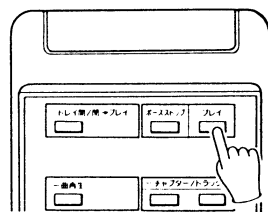


タイムナンバーを変更するときは、クリアキーを押してから新しいタイムナンバーを指定しなおしてください。

またクリアキーを2回続けて押しますと、タイムナンバーサーチを解除することができます。

**3** プレイキーを押します。

サーチ後、指定したタイムナンバーから再生がスタートします。



\* タイムナンバーサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押します。

# タイムサーチ **CDV CD**

時間単位で頭出しするには

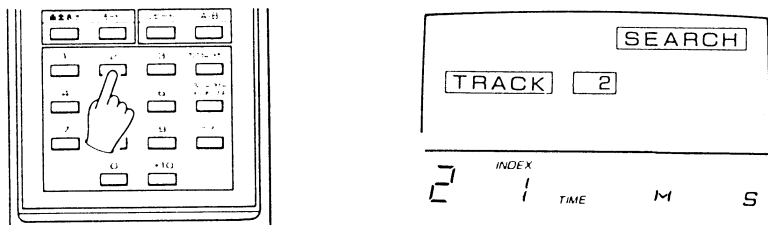
ディスクの任意の時間を指定し、その位置から再生をスタートさせることができます。タイムサーチには、トラック(曲)ごとの経過時間を指定するトラックタイムサーチとディスクの頭からの再生経過時間を指定するトータルタイムサーチおよび演奏残り時間を指定するリメインタイムサーチの3種類の方法があります。

## ■トラックタイムサーチ

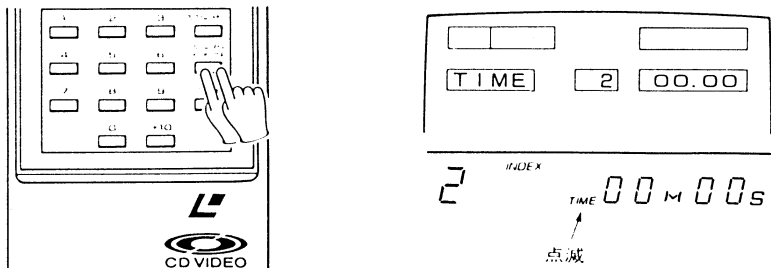
- **20cm・30cm CDV** でトラックタイムサーチをするときは、モードキーを押してトラックタイム表示にします。

例) トラック2の3分45秒から再生するには

- 1 テン(1~0、+10)キーでトラックを選びます。  
この場合は"2"です。

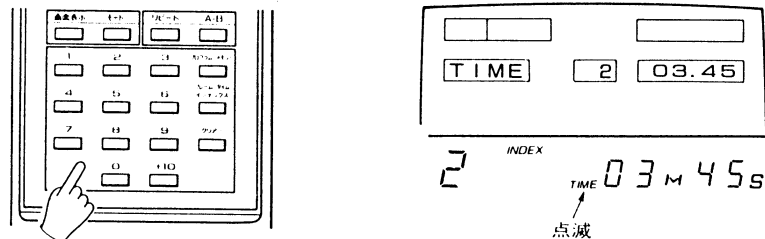


- 2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。  
ディスプレイに"TIME"が点滅していることを確認してください。



- 3 テン(1~0)キーでトラックタイムを指定します。

この場合は"3"、"4"、"5"と押します。

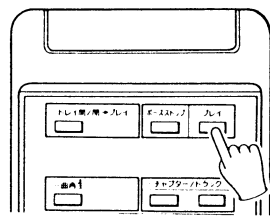


トラックタイムを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいトラックタイムを指定しなおしてください。

またクリアーキーを2回続けて押しますと、トラックタイムサーチを解除することができます。

- 4 プレイキーを押します。

トラック2の3分45秒から再生がスタートします。

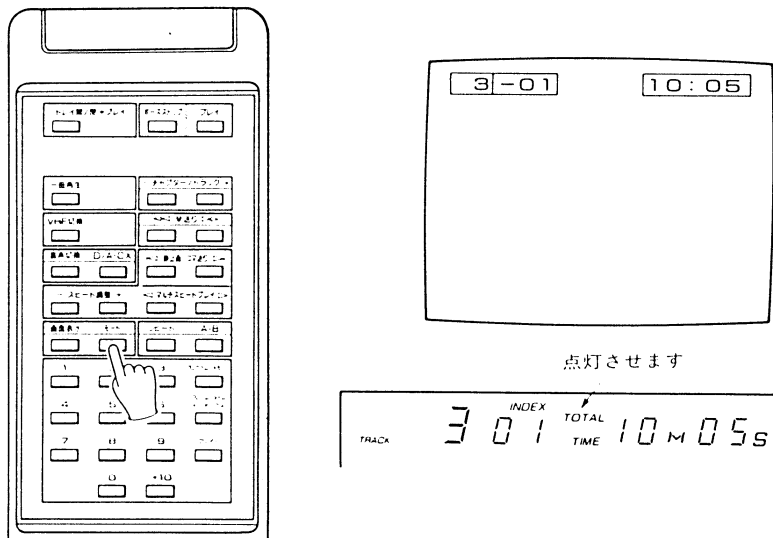


- \* 指定中にトラックタイムサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押してください。
- \* 指定したトラックタイムが、そのトラックに無い場合は次のトラックの頭から再生されます。
- \* 12cmCDVのビデオパート再生中に同様の指定をしますと、オーディオパートの曲目の再生がスタートします。

## ■トータルタイムサーチ

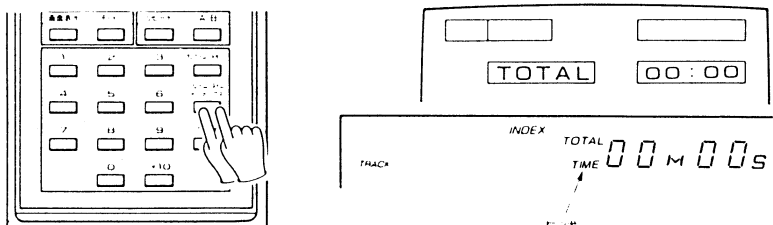
例) ディスクの頭から4分30秒の位置から再生するには

**1** モードキーを押し、TOTAL TIME表示にします。

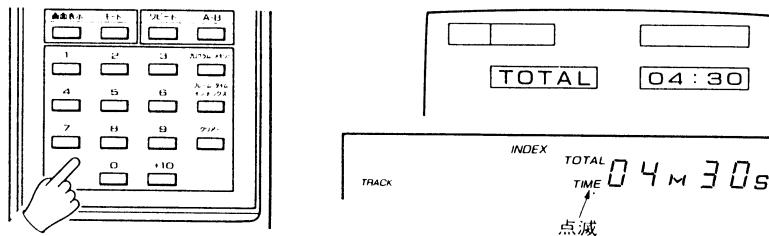


**2** フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

ディスプレイに“TIME”が点滅していることを確認してください。



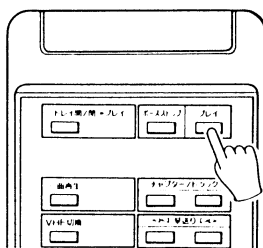
**3** テン(1~0)キーでトータルタイムを指定します。  
この場合は“4”、“3”、“0”と押します。



トータルタイムを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいトータルタイムを指定しなおしてください。  
またクリアーキーを2回続けて押しますと、トータルタイムサーチを解除することができます。

**4** プレイキーを押します。

4分30秒の位置から再生がスタートします。

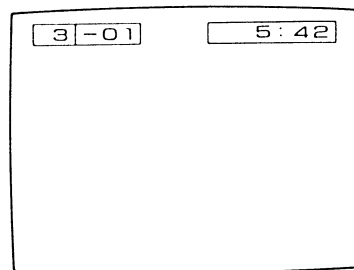
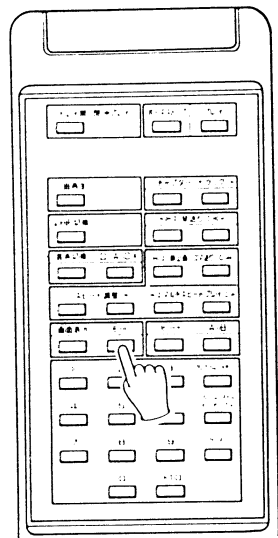


- \* 12cmCDVのビデオパート再生中は、ビデオパートの頭からのトータルタイムサーチとなります。
- \* 12cm CDVではビデオパートからオーディオパートへ、またはオーディオパートからビデオパートへパートをまたいだトータルタイムサーチはできません。
- \* 12cmCDVのオーディオパートの総再生時間をオーバーしたトータルタイムを指定しますと、オーディオパートの最後でストップ状態になります。

## ■リメインタイムサーチ

例) ディスクの残り4分30秒の位置から再生するには

1 モードキーを押し、REMAIN TIME表示にします。

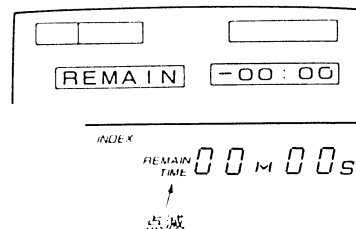
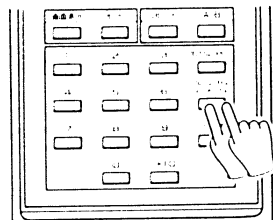


点灯させます。



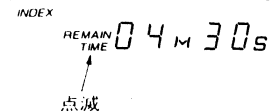
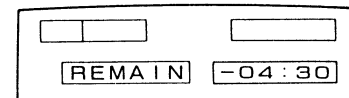
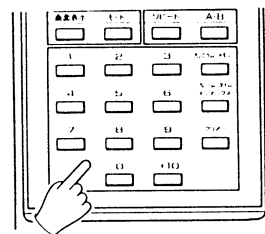
2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

ディスプレイに「TIME」が点滅していることを確認してください。



3 テン(1~10)キーでリメインタイムを指定します。

この場合は「4」、「3」、「0」と押します。

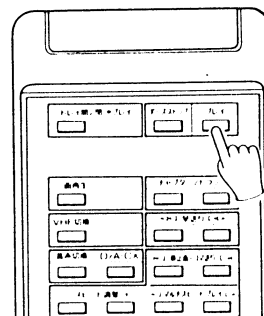


リメインタイムを変更するときは、クリアキーを押してから新しいリメインタイムを指定しなおしてください。

また、クリアキーを2回続けて押しますと、リメインタイムサーチを解除することができます。

4 プレイキーを押します。

演奏残り時間4分30秒の位置から再生がスタートします。



- 12cmCDVのビデオパートもしくはオーディオパートを再生中にリメインタイムサーチをしますと、それぞれのパート内でのサーチとなります。


# インデックスサーチ **CDV CD**

インデックスナンバーから再生するには

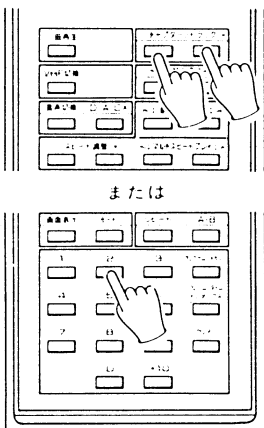
- インデックスナンバーとは  
クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクはインデックス単位で再生をスタートさせることができます。
- インデックスナンバーが記録されているディスクには **INDEX** マークがディスクのジャケットに記載されています。お確かめください。
- 20cm・30cm CDV** でインデックスサーチをするときは、モードキーを押してインデックス表示にします。

例) トラック2のインデックスナンバー3から再生を始めるときには

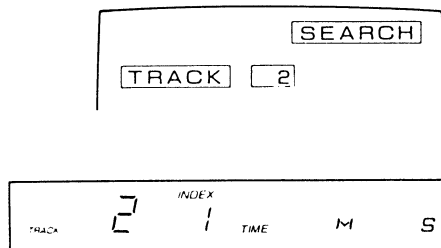
1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3


 ここから演奏をはじめます。

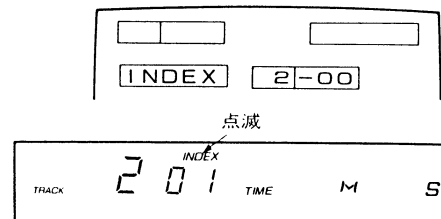
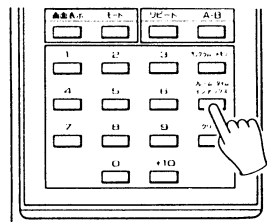
**1** テン(1~0、+10)キーで再生するトラックを指定します。



この場合は"2"です。

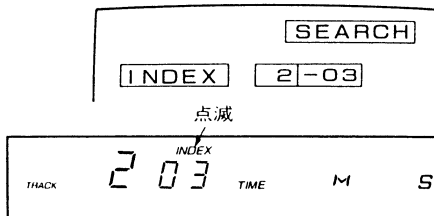
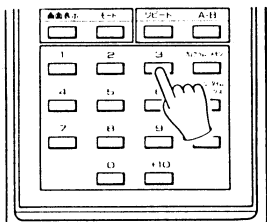


**2** インデックスキーを押します。



**3** テン(1~0、+10)キーを押してインデックスナンバーを指定します。  
この場合は"3"です。

"3"を押しますと、自動的にインデックスナンバー3のサーチを開始します。



- \* 選択したトラックに記録されているインデックスナンバーより大きな数字を指定しますと、次のトラックを再生します。また12cmCDVでオーディオパートの最後のトラックに同様の指定をしますと、ストップになります。
- \* インデックスの記録されていないディスクの再生中も"1"が表示されます。
- \* インデックスナンバーが記録されていないディスクに"2"以上のインデックスナンバーを指定しますと次の曲から再生します。
- \* 指定中にインデックスキーをさらに2回押しますと、インデックスサーチを解除することができます。

インデックスナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいインデックスナンバーを指定しなおしてください。

また、クリアーキーを2回続けて押しますと、インデックスサーチモードは解除されます。

# プログラム再生

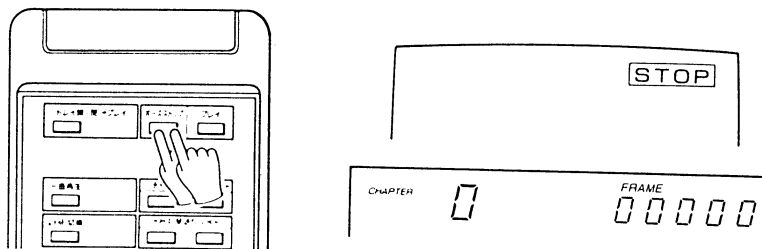
## 20cm・30cmCDV LD

最大15までのチャプターを選択し、順番を並び換えて再生することができます。

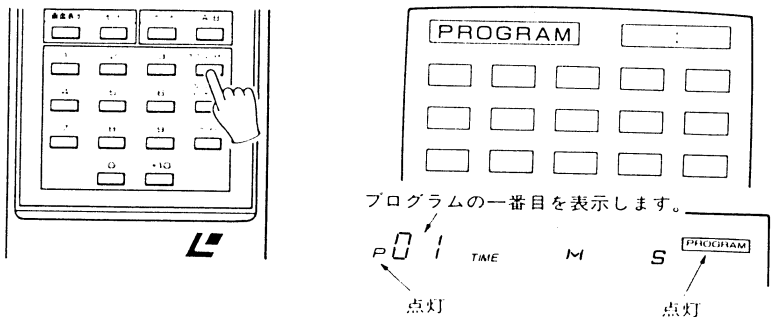
- チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生することはできません。
- 20cm・30cmCDVはチャプターナンバー、トラックナンバーのどちらを使ってもプログラムすることができます。

例) チャプター3、チャプター5の順番でプログラム再生するには

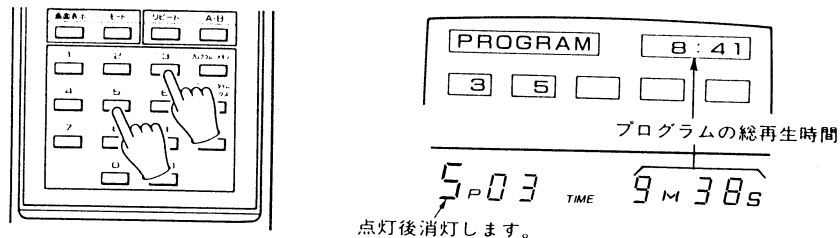
**1** ポーズ・ストップキーを2回押してストップ状態にします。



**2** プログラム・メモリーキーを押します。  
ディスプレイの“PROGRAM”が点灯します。

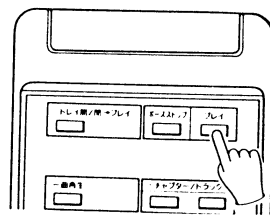


**3** テン(1~0、+10)キーでプログラムするチャプターを選びます。  
この場合は3、5とキーを押します。



- これで、チャプター3、5の順にプログラム再生がセットされました。(同様の方法でプログラム15までメモリーすることができます。)
- チャプター番号を入力中に訂正するときは、チャプターキー(+、-)で訂正する箇所を指定し(数字が反転します)、新しいチャプター番号をテンキーで指定します。
- ディスクにないチャプター番号もプログラムすることができますが、実際のプログラム再生では、スキップされます。
- 画面およびディスプレイにはメモリーが完了することによってプログラムの総再生時間が表示されますが、チャプターナンバーが21以上のチャプターをメモリーした場合は、総再生時間は表示されません。

**4** プレイキーを押します。  
プログラムの一番目のチャプターから再生がスタートします。この場合はチャプター3です。



- プログラム再生中にチャプターキー(+、-)を使いますと、前後のプログラムを頭出しして再生するチャプタースキップをすることができます。

■プログラムを変更、追加、削除、解除するときは47ページをご参照ください。

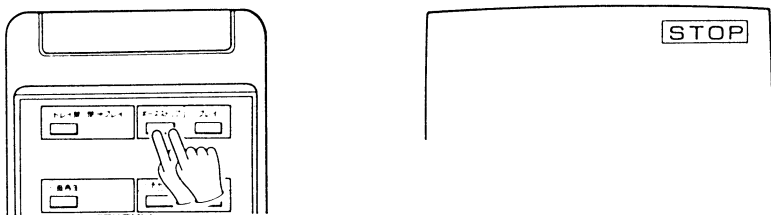
## 12cmCDV CD

ビデオパート、オーディオパートの区別なく最大15までのトラック(曲)を選択し、順番を並び変えて再生することができます。

- ディスクトレイが開いているときなど、ディスクの情報が読み込まれていないときは、ディスクに無いトラックナンバーもプログラムできますが、ディスクの情報が読み取られた時点で、そのトラックナンバーは自動的に削除されます。

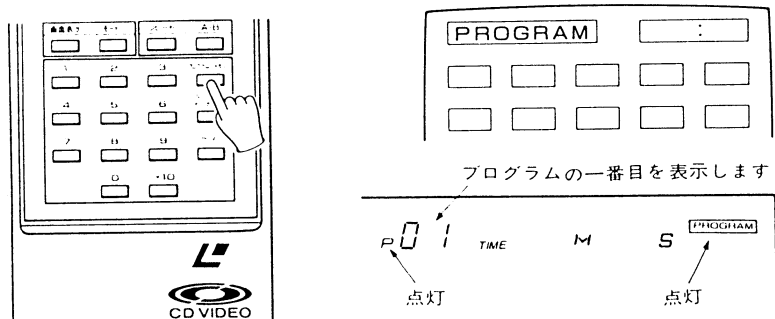
例) トラック3、トラック5の順番でプログラム再生するには

### 1 ポーズ・ストップキーを2回押してストップ状態にします。



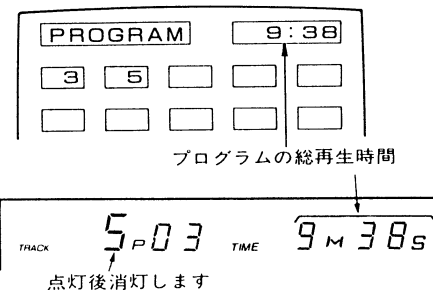
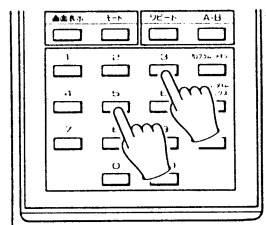
### 2 プログラム・メモリーキーを押します。

ディスプレイの“PROGRAM”が点灯します。



### 3 テン(1~0、+10)キーでトラックを選びます。

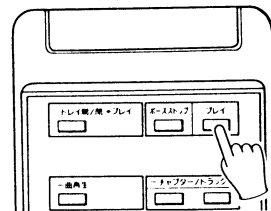
この場合は3、5と押します。



- これでトラック3、5の順にプログラム再生がセットされました。(同様の方法で15までのトラックをメモリーすることができます。)
- トラック番号を入力中に訂正するときは、トラックキー(+、-)で訂正する箇所を指定し(数字が反転します)、新しいトラック番号をテンキーで指定します。
- 画面およびディスプレイにはメモリーが完了することにプログラムの総再生時間が表示されますが、トラックナンバーが21以上のトラックをメモリーした場合には、総再生時間は表示されません。

### 4 プレイキーを押します。

プログラムの一番目のトラックから再生がスタートします。この場合はトラック3です。



- プログラム再生中にトラックキー(+、-)を使いますと、前後のトラックを頭出しして再生するトラックスキップをすることができます。

■ プログラムを変更、追加、削除、解除するときは47ページをご参照ください。

## ■一度プログラムをセットしたあとの変更、追加、削除、解除のしかた

### ●変更のしかた

- 1 ポーズ・ストップキーを2回押しストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーで変更したいプログラムを選び、新しいチャプターナンバーをテンキーで指定します。

### ●追加のしかた

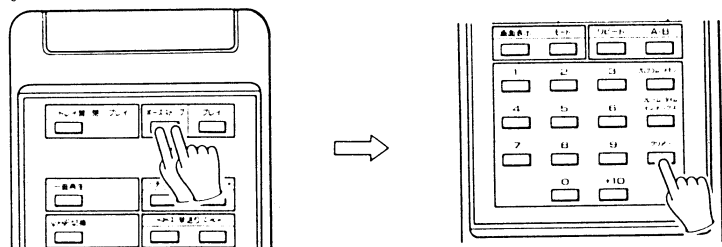
- 1 ポーズ・ストップキーを2回押しストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーの“+”を押し、追加した枠を増やします（枠が白く反転します）。
- 3 テンキーで追加したいチャプターまたはトラック番号を入力します（必要に応じて2、3を繰り返します）。

### ●削除のしかた

- 1 ポーズ・ストップキーを2回押しストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーで削除したいプログラムを選び、クリアキーを押しますと、そのチャプターはプログラムから削除されます。

### ●プログラムの解除(取り消し)のしかた

- 1 ポーズ・ストップキーを2回押しストップ状態にし、プログラム表示にします。
- 2 クリアキーを押して画面およびディスプレイの“PROGRAM”の文字を消しますと、プログラム再生は解除されます。
  - プログラムはディスクトレイを開閉したり、一度電源を切りますと解除されます。



## メモリー再生

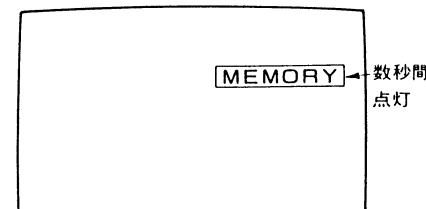
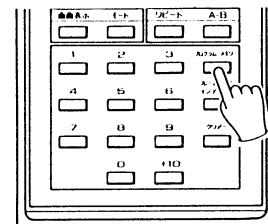
再生中にプログラム・メモリーキーを押しておきますと、あとでその位置から再生をスタートさせることができます。

- プログラム再生中はメモリー再生はできません。

### 20cm・30cmCDV LD

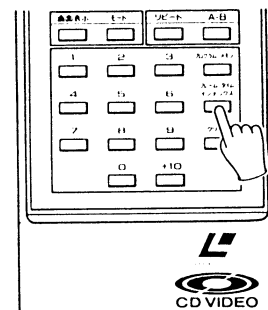
#### 1 メモリーしたい場面でプログラム・メモリーキーを押します。

“MEMORY”の文字が表示されます。(押したときのフレームナンバーまたはタイムナンバーがメモリーされます)

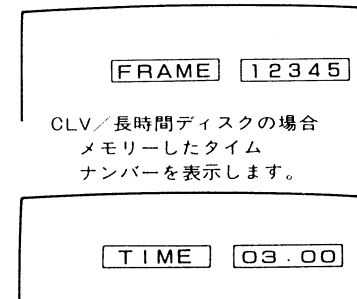


#### 2 フレーム・タイムキーを押します。

メモリーしたフレームナンバーまたはタイムナンバーが表示されます。



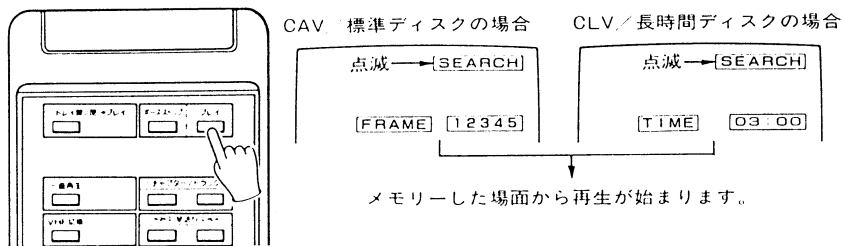
CAV/標準ディスクの場合  
メモリーしたフレーム  
ナンバーを表示します。



- CDV-LDディスクで、トラック表示中にフレーム・タイムキーを押して、INDEX表示になるときは、もう一度フレーム・タイムキーを押すとTIME表示になります。



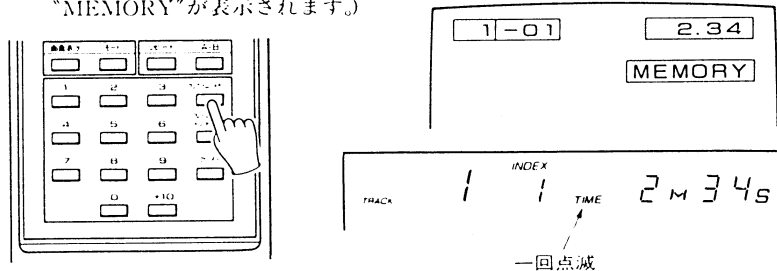
- 3** プレイキーを押します。  
メモリーした場面をサーチして再生します。



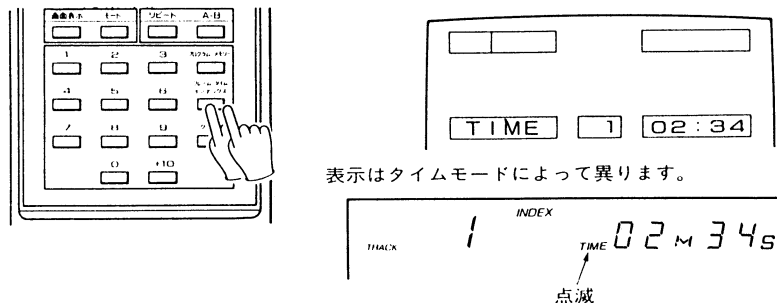
- 再生中にポーズ・ストップキーを押してストップした場合は、フレーム・タイムキーを押し、フレームナンバーまたはタイムナンバーを表示させてからプレイキーを押しますと、さきほどポーズ・ストップキーを押してストップさせた位置から再生をスタートすることができます。
- 20cm・30cmCDV (CAV/標準ディスク)はフレームナンバー表示中は、フレームナンバーメモリーとなり、他の表示のときは、CDV、CDと同様の操作となります。
- “分”単位で記録されたディスクでは“分”の最初に戻って再生がスタートしますので、メモリーした画面とは異なることがあります。

**12cmCDV CD**

- 1** メモリーしたい箇所でプログラム・メモリーキーを押します。  
(押したときの時間がメモリーされます)  
キーを押しますとディスプレイの“TIME”が一度点滅します。(画面には一度“MEMORY”が表示されます。)

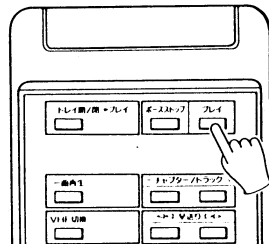


- 2** フレーム・タイムキーを2回続けて押します。  
ディスプレイの“TIME”が点滅、メモリーした時間が表示されます。



表示はタイムモードによって異なります。

- 3** プレイキーを押します。  
メモリーした位置をサーチ後、そこから再生がスタートします。
- ポーズ・ストップキーを押しますと、メモリーした位置でポーズ状態になります。



- メモリー再生はトラックタイム表示、トータルタイム表示、リメンタイム表示のいずれの状態でも可能です。またメモリーされた時間は、クリアキーあるいはモードキーを押すと消去され、ディスプレイはトラックタイム表示に戻ります。
- 再生中にポーズ・ストップキーを押してストップした場合は、フレーム・タイムキーを押し、フレームナンバーまたはタイムナンバーを表示させてからプレイキーを押しますと、さきほどポーズ・ストップキーを押してストップさせた位置から再生をスタートすることができます。

# マルチスピード再生 **20cm・30cm CDV LD (CAV/標準ディスク)** 再生スピードを変えるには

LDや20cm・30cmCDVのCAV/標準ディスクではスピード調整キーにより、10段階の再生スピードを選ぶことができます。(マルチスピード再生)  
電源を入れたときは、3倍速が設定されています。これよりも速くしたいときはスピード調整キーの+キー、遅くしたいときは-キーを押します。

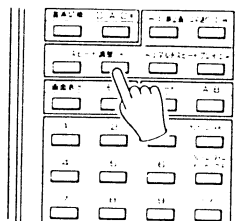
速 さ	画面上の表示
ハイスピード再生	12倍速 *12
	3倍速 *3
	2倍速 *2
標準スピード *1	
スローモーション再生	1/2の速さ 1/2
	1/4の速さ 1/4
	1/8の速さ 1/8
	1/16の速さ 1/16
	1秒1コマ送り 1 SEC
	3秒1コマ送り 3 SEC

## メモ

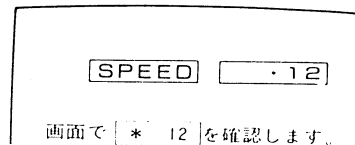
- 選んだ速さは他の再生モードに換えた場合でも記憶され続けますが、電源を切ると3倍速に戻ります。
- マルチスピード以外の再生モード時にもスピード調整キー(+,-キー)を受け付け、マルチスピード再生時のスピードをあらかじめ変えておくことができます。
- マルチスピード再生中はすべてのスピード(\*1を含め)で音は出ません。

## ■ハイスピード再生

1 スピード調整キーの“+”キーを押し、スピードを設定します。

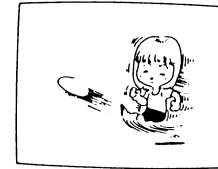
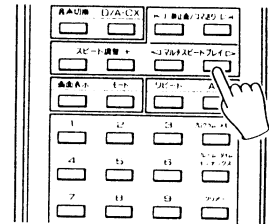


例) 12倍速で再生するには  
この場合は\*12を表示させます。



画面上で \* 12 を確認します。

2 マルチスピードプレイキーの“▷”キーを押します。  
(逆転再生するときは、“◁”キーを押します。)

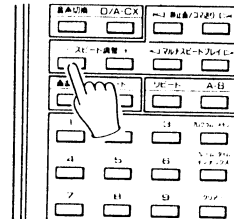


フレーム(タイム)ナンバーが緑色に変わり、12倍速でハイスピード再生となります。(音声は消えます。)

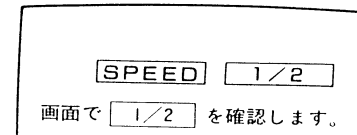
\*通常の再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

## ■スローモーション再生

1 スピード調整キーの“-”キーを押し、スピードを設定します。

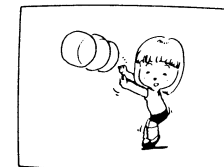
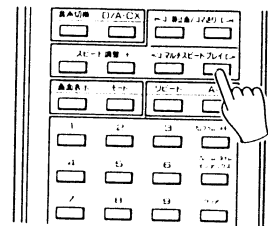


例) 1/2の速さで再生するには  
この場合は1/2を表示させます。



画面上で 1/2 を確認します。

2 マルチスピードプレイキーの“▷”キーを押します。  
(逆転再生するときは、“◁”キーを押します。)



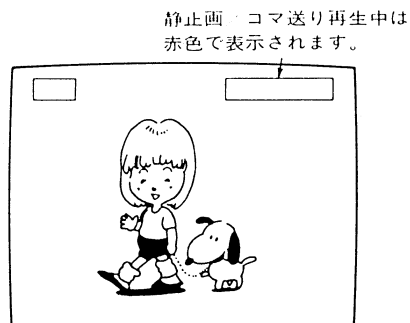
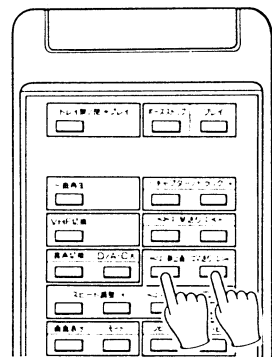
フレーム(タイム)ナンバーが緑色に変わり、1/2の速さでスローモーション再生となります。(音声は消えます。)

\*通常の再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

# 静止画／コマ送り再生 **20cm・30cm CDV LD (CAV/標準ディスク)** 見たい場面で止めるには

## ■静止画再生

静止画／コマ送りキー(◀、▶)のどちらか一方を押すと、映像が静止します。



- 音声は出ません。
- \* 再生するディスクによっては完全な静止画にはならず、画像がブレルことがあります。
- \* 通常の再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

### メモ

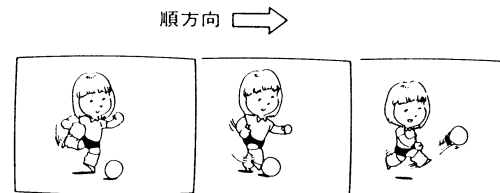
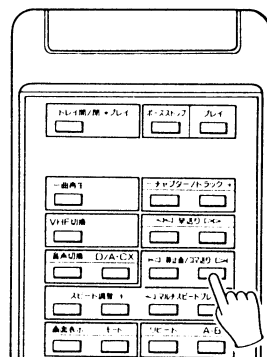
画面静止状態でも早送り、早戻しを行なうことができますので、見たい画面を素早く探すときに便利です。この状態で早送り、早戻しを行なった後は、静止画面となります。

## ■コマ送り再生

### 〔順方向〕

静止画にした後、▶キーを押すたびに画面が順方向にコマ送りされます。押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

- 音声は出ません。

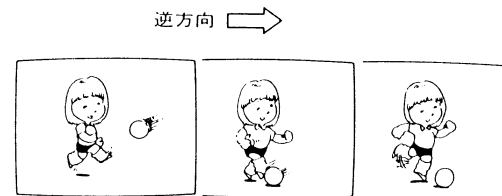
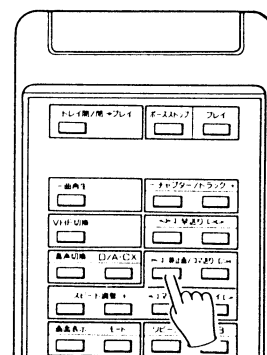


- \* 通常の再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

### 〔逆方向〕

静止画にした後、◀キーを押すたびに画面が逆方向にコマ送りされます。押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

- 音声は出ません。



- \* 通常の再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

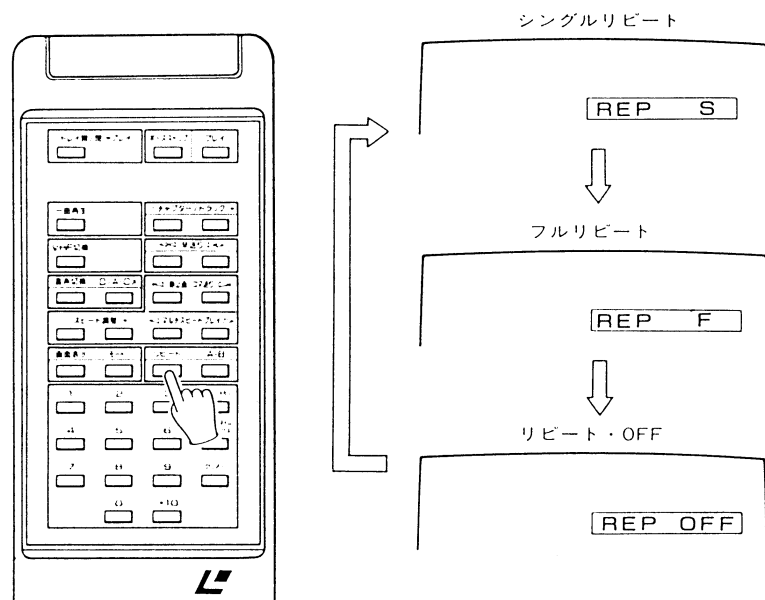
# リピート再生 再生を繰り返すには

ディスクの片面または再生したい箇所だけを繰り返して再生することができます。  
リピート再生には4種類あります。

- シングルリピート (SINGLE REPEAT) : 1チャプターまたは1トラックを繰り返して再生します。
- フルリピート (FULL REPEAT) : ディスクの片面全部を繰り返し再生します。
- A-Bリピート (A-B REPEAT) : 指定した2点間を繰り返し再生します。
- プログラムリピート : プログラムを繰り返し再生します。

## ■リピートモードの切り換えについて

リピートキーを押すごとにリピート機能が切り換わります。

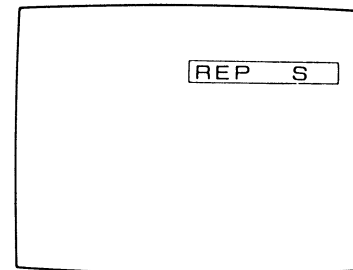
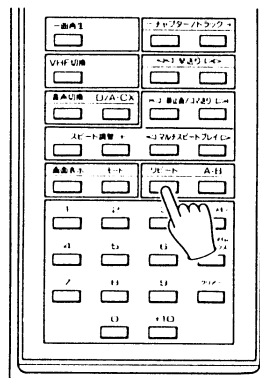


## 20cm・30cmCDV LD

### ■シングルリピート (SINGLE REPEAT)

(チャプターナンバーが記録されているディスク)

現在再生しているチャプター(またはトラック)を繰り返し再生します。

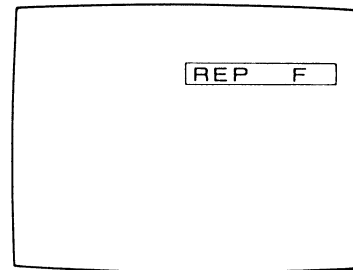
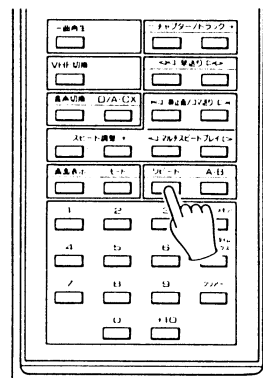


同じチャプター(トラック)を繰り返して再生します。

リピートキーをこの画面になるまで押します。  
REP Sは数秒間点灯します。

### ■フルリピート (FULL REPEAT)

ディスクの片面を繰り返し再生します。

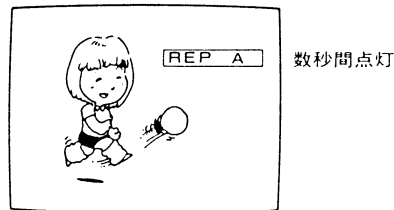
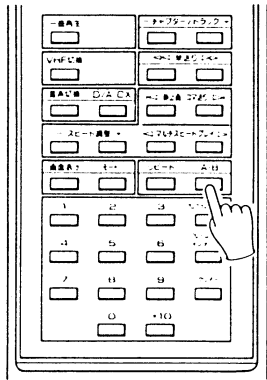


ディスクの片面を繰り返して再生します。

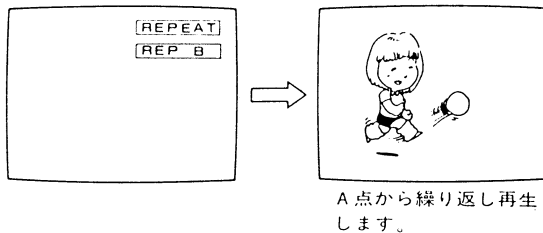
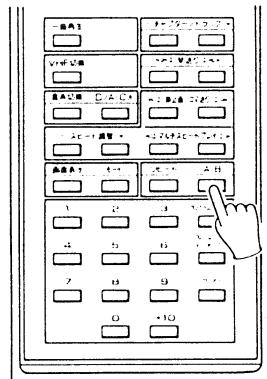
リピートキーをこの画面になるまで押します。  
REP Fは数秒間点灯します。

## ■A-Bリピート

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。  
A点が指定されます。



- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。  
B点が指定され、下のような表示が現れた後、A-B間を繰り返し再生します。



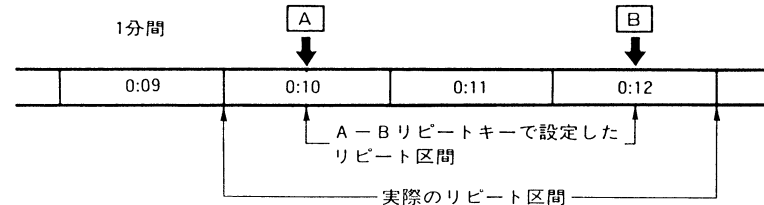
●プログラム再生中はA-Bリピートはできません。

### ご注意

#### CLV/長時間ディスクのリピート区間について

CLV/長時間ディスクのリピートは、ディスクに記録されたタイムによって行なわれます。ディスクは「分」を最小単位として記録されたものと「秒」単位まで記録されたものがあります。A-Bリピートを行なう場合、「秒」まで記録されたディスクでは再生時にA-Bキーを押した点(場面)と実際のリピート区間およびサーチ点(場面)はディスクプログラム上ではほぼ一致しますが、分単位で記録されたディスクでは必ずしも一致しません。

例)「分」単位で記録されたディスクでのA-Bリピート



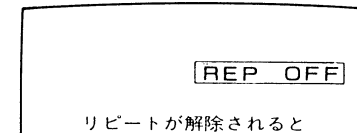
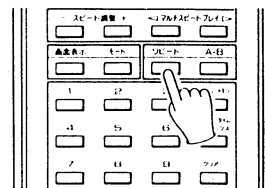
「分」単位でタイム記録されたディスクでの最短のリピート区間は1分間です。同一の「分」でA-Bキーを押すと1分間のリピートとなります。

## ■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムのフルリピートもできます。

## ■リピートを解除するには

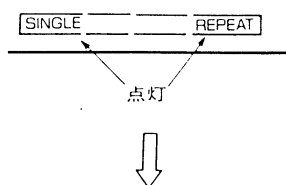
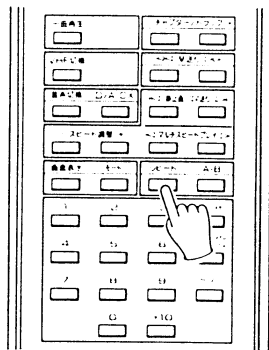
リピートキーを押して画面にREP OFFを表示させるか、ディスプレイのREPEAT表示を消灯させますと、すべてのリピートが解除されます。



## CDV CD

### ■シングルリピート

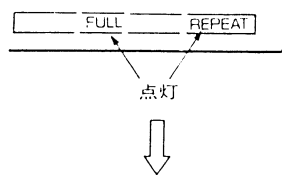
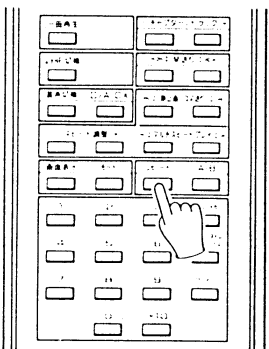
再生中のトラックを繰り返し再生します。  
画面には“REPEAT S”が一度表示されます。



同じトラックを繰り返し再生します。

### ■フルリピート

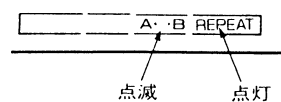
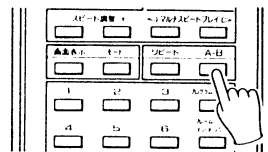
ディスクの全トラックを繰り返し再生します。  
画面には“REPEAT F”が一度表示されます。



ディスクの最後のトラックを再生し終わると  
最初のトラックに戻り再生を始めます。

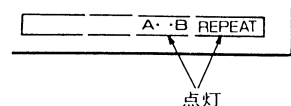
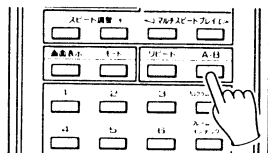
### ■A-Bリピート

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。  
A点が指定されます。



●プログラム再生中はA-Bリピートできません。

- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。  
B点が指定されます。同時にA点のサーチに移り、A点から再生がスタートします。

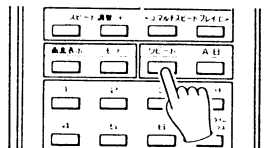


トラックの一部やトラックをまたがったA-Bリピートはできませんが、12cmCDV  
ではオーディオパートとビデオパートにまたがるA-Bリピートはできません。

### ■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムフルリピートをすることができ  
ません。

### ■リピートを解除するには



リピートキーを押して画面にREP OFFを表示さ  
せるか、ディスプレイの REPEAT 表示を消灯さ  
せると、すべてのリピートが解除されます。

# 本機をシステムでご使用になりますと

本機を別売のアンプAST-A90M、ダブルカセットデッキK-W90Mとそれぞれシステムコネクターケーブルで接続しますと、ダイレクト録音、リプレイ録音、ツインダイレクト録音、ツインリプレイ録音をすることができます。

## ■ダイレクト録音

K-W90Mのワンタッチ操作で、本機の再生と録音を同時にスタートさせる機能です。また、ダイレクト録音の場合にはAST-A90MのインプットセレクターやREC OUTセレクターがどの位置にあっても優先的に録音をすることができますので、本機を録音中にも他のソースを自由に聴くことができます。

## ■リプレイ録音

本機の音声を録音中にK-W90Mのクイックリバース機能が働き、途中で録音が途切れた場合に、テープ反転後にもう一度その曲の頭から録音をしないおす機能です。

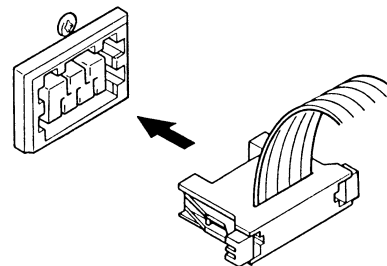
## ■ツインダイレクト録音、ツインリプレイ録音

ダイレクト録音、リプレイ録音をK-W90MのデッキA、デッキBの両方で同時に行なうことができます。同じテープを2本作るとき便利です。

- 詳細はAST-A90M、K-W90Mの取扱説明書をご参照ください。

## システムコネクターケーブルの接続のしかた

システムコネクターケーブルで、AST-A90MのSYSTEM CONTROL端子“CD/CDV”と本機のSYSTEM CONTROL端子“AMP”を接続します。コネクターの向きに注意して確実に接続してください。



コネクターケーブルを取りはずす際は、コネクターの両サイドを持って引き抜いてください。

# 故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお問合せまたはサービスをご依頼ください。

## LD、CDV、CD共通

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差し込んでください
再生が始まらない	ディスクがセットされていない	ディスクをセットしてください
ディスクトレイが出てしまう	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→7ページ)
	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→8ページ)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	電池を交換してください(→4ページ)
	リモコン操作の距離、角度が適切でない	7m以内、30°以内で操作してください(→4ページ)
リモコンを操作するとテレビが誤動作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビを使用している場合	テレビが本機のそばにセットされている
		テレビと本機を離してセットするかテレビのリモコン受光部におおいをしてください
ブーンというハム音が出る	接続コードのプラグの接続不良	接続コードのプラグをしっかり差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください

## LD、20cm・30cmCDV、12cmCDVのビデオパート再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	テレビ(カラーモニター)の電源が切れている	テレビ(カラーモニター)の電源を入れてください
	接続が不完全	正しく接続し直してください(→10～18ページ)
	テレビのVHF入力を使用している場合	本機の送り出しチャンネルとテレビのチャンネルが合っていない
		ANTインジケータが点灯している
	片面ディスクを裏かえしにセットしている	見たいレーベル面を上にしてセットしてください
テレビ番組(VHF放送)が映らない	VHFアンテナの接続が不完全	VHFアンテナを正しく接続し直してください(→11～18ページ)
	ANTインジケータが点灯している	VHF切換キーを一回押して、ANTインジケータを点灯させます
テレビ番組(UHF放送)が映らない	UHFアンテナを本機のANT IN端子に接続している	UHFアンテナは、直接テレビのUHF入力端子に接続してください(→11～18ページ)
テレビ番組の映りが悪い 画面にしま模様が入る	電波の弱い地域ではこのような症状が出る場合があります	テレビ番組を見るときは本機の電源を切ってください
画質が悪い	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→7ページ)
画面が乱れる	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→8ページ)



## LD、20cm・30cmCDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	マルチスピード再生をしている	プレイキーを押して、標準再生モードにしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合   音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください(→17~18ページ)
音声が不自然に聞こえる	CX NRをONにするように指示されている CLV 長時間ディスクを再生している	ジャケットの指示に従ってCX NRをONにしてください(→34ページ)
マルチスピード再生、静止 コマ送り再生、フレームサーチができない	CLV 長時間ディスクを再生している	CLV 長時間ディスクはマルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができません
チャプタースキップ チャプターサーチができない	チャプターナンバーが記録されていないディスクを再生している	リモコンの表示切換キーを押してチャプターナンバーが表示されるか確かめてください(→36~37ページ)
タイムナンバーサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	リモコンの表示切換キーを押して、タイムナンバーが「分」単位で記録されたディスクか、「秒」単位で記録されたディスクか確かめてください	タイムナンバーサーチ(40ページ)を参照してください

## 12cmCDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合   音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください(→17~18ページ)
A-Bリピートができない	A、Bの2点がオーディオハートとビデオハートにまたがっている	A-Bリピート(→53ページ)を参照してください
プレイキーを押すとディスクの途中から再生が始まってしまう	CDVでは必ずビデオハートから再生がスタートします。	ディスクの最初から再生するときは、トラックキーでトラック1を指定してください(→26ページ)
タイムサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	指定したトラックタイムがそのトラックをオーバーしている または、指定したトータルタイムがオーディオハートをオーバーしている	タイムサーチ(→41ページ)を参照してください

## CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOK
ディスクを入れても演奏が始まらない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→7ページ)
音が出ない	接続が不完全	正しく接続し直してください(11~18ページ)

# 参考仕様

## ■型式

LD、CDV、CD再生フルコンビネーションプレーヤー

1ピックアップ、1スピンドルモーター

方式 レーザービジョン方式

信号方式 NTSC方式準拠

再生可能ディスク **LD** すべてのNTSCレーザービジョンディスク

20cm、30cm標準ディスク(CAV)

20cm、30cm長時間ディスク(CLV)

**CDV** 12cm、20cm、30cm ディスク

**CD** 8cm、12cmディスク

## ■構成

### <ビデオ系>

Philips-MCA方式に基づく光学式ビデオディスクシステム。NTSC方式。

光ピックアップ ダイレクトFM TBC

映像FM検波 バルスカウント検波

その他 ビデオノイズリダクション

### <オーディオ系>

ビデオディスクアナログ音声FM検波 デジタル方法

ビデオディスク アナログ音声ノイズリダクション デジタルCXノイズリダクション

デジタル音声部 エラー訂正方式 CIRC 2重

デジタル音声部 D/A変換 16ビットリニア

デジタル音声部 フィルター 2fsデジタルフィルター

+3次アクティブフィルター

## ■入・出力端子

### <入力>

アンテナ入力 ANT IN: VHF 75Ω不平衡、F型ジャック

### <出力>

RF出力 VHF OUT: VHF 1chまたは2ch切替方式、75Ω不平衡  
F型ジャック

ビデオ出力 VIDEO SIGNAL: 1Vp-p(75Ω負荷時、同期負)  
ピンジャック

デジタル出力 オプティカル方式(トスリンク型)

オーディオ出力 AUDIO SIGNAL(L,R)  
: 100mVr.m.s.(1kHz、40%変調: アナログ)  
100mVr.m.s.(1kHz、-20dB: デジタル)

●デジタル アナログの両方の音声で記録されたディスクは自動的にデジタル音声が、アナログで記録されたディスクはアナログ音声で出力されます。  
(デジタル→アナログ音声切替可能)

ステレオピンジャック  
MONO: モノラルTV用  
モノラルピンジャック

オーディオモノ出力

システム端子

I/Oポート

90Mシリーズとの接続用

I/O PORT: 調整用端子です。ご使用になれません。

## ■ビデオ信号

水平解像度 425本

輝度信号 S/N比 47dB

## ■オーディオ信号

周波数特性 20Hz~20kHz ±1.0dB(デジタル音声)

S/N比 100dB (デジタル音声、HIF-A)

70dB(アナログ音声、CX NR ON)

90dB(デジタル音声)

ダイナミックレンジ

全高調波歪率 0.006%(1kHz、0dB) (デジタル音声)

チャンネルセパレーション 80dB(1kHz) (デジタル音声)

ディエンファシス偏差 ±0.5dB(デジタル音声)

出力インピーダンス 1kΩ

## ■総合

電源 AC 100V 50/60Hz

消費電力 28W

外型寸法 366(W)×125(H)×435.5(D)mm

重量 9kg

許容動作温度/湿度 5°C~35°C 0~90%(結露のないこと)

## ■付属品

リモコン	乾電池(SUM-3)×2
F型プラグアダプター×1	RFケーブル×1
音声ケーブル×1	映像ケーブル×1
システムコネクターケーブル×1	オプティカルケーブル×1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

(昭和62年10月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## ●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービジョンプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後最低8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

## ●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。  
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

## ■お客様相談窓口

〒430 浜松市中沢町10-1 ヤマハ株式会社  
ホームエレクトロニクス事業本部  
お客様相談センター TEL(0534)60-3409  
定休日 日・月・祭日  
営業時間 午前9時～午後5時30分

## 製造元／ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部  
管理部サービス技術課

TEL. (0534) 60-3421  
TEL. (0534) 60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。